

令和 8 年度 シラバス

保育科 1 年

保育科1年

令和8年度入学生 開講科目表

柴田学園大学短期大学部

整理 番号	系列	科目 番号	科 目 名	単位	授業 形態	担 当 者	卒業 必修	幼稚園 必修	保育士 必修	ベビー シッター必 修	開講時期・時間				備 考
											1 年		2 年		
											前	後	前	後	
1	01共通	2101	学 園 と 地 域 を 知 る	2	講義	島 内 智 秋	○				2			生1・保1 同時開講	
2	01共通	2102	倫 理 学	2	講義	齋 藤 雅 俊					2			生1・保1 同時開講	
3	01共通	2103	心 理 学	2	講義	新 田 史 暁						2		生1・保1 同時開講	
4	01共通	2104	国 語 表 現	2	講義	高 橋 直 樹						2		生1・保1 同時開講	
5	01共通	2105	法 学	2	講義	小 野 昇 平		○			2			日本国憲法を含む。 生1・保1 同時開講	
6	01共通	2106	経 済 学	2	講義	米 塚 清 子					2			生1・保1 同時開講	
7	01共通	2107	経 営 学	2	講義	—								開講せず	
8	01共通	2108	教 養 の 化 学	2	講義	柳 町 悟 司					2				
9	01共通	2109	教 養 の 生 物 学	2	講義	柳 町 悟 司						2			
10	01共通	2111	キ ャ リ ア 基 礎	1	演習	米 塚 清 子						2		生1・保1 同時開講 90分×8回	
11	01共通	2112	津 軽 を 探 る	1	講義	米 塚 清 子						2		生1・保1 同時開講 90分×8回	
12	01共通	2113	現 代 作 法 学	2	講義	米 塚 清 子	○				2			生1・保1 同時開講	
13	01共通	2114	音 楽	2	演習	金 山 茉莉花						2		生1・保1 同時開講	
14	02外国	2131	英 語 (1)	2	演習	ウォータース雅代		○	○	○	2				
15	03保健	2141	保 健 体 育	1	講義	今 ・ 佐 藤裕	○	○	○	○		1		生1・保1 同時開講 90分×8回	
16	03保健	2142	体 育 実 技	1	実技	神 和 人	○	○	○	○	2				
17	04専門	2201	教育原理と教職論	2	講義	齋 藤 雅 俊		○	○	○		2			
18	04専門	2202	教 育 心 理 学	2	講義	高 橋 直 樹	○	○	○	○	2				
19	04専門	2203	図 画 工 作 基 礎 (1)	1	演習	蝦 名 敦 子	○	○	○	○	2			2班編成	
20	04専門	2204	図 画 工 作 基 礎 (2)	1	演習	蝦 名 敦 子	○	○	○	○		2		2班編成	
21	04専門	2205	運 動 あ そ び (1)	1	演習	今 ・ 佐 藤裕	○	○	○	○	2				
22	04専門	2206	運 動 あ そ び (2)	1	演習	今 ・ 佐 藤裕	○	○	○	○		2			
23	04専門	2208	ピ ア ノ 基 礎 (1)	1	演習	工 藤 里 砂子		○	○	○	2			2班編成	
24	04専門	2209	ピ ア ノ 基 礎 (2)	1	演習	工 藤 里 砂子		○	○	○		2		2班編成	
25	04専門	2214	保 育 原 理 (1)	2	講義	島 内 智 秋	○		○	○	2				
26	04専門	2216	社 会 的 養 護 (1)	2	講義	佐 藤 優 輝	○		○	○		2			
27	04専門	2217	社 会 福 祉	2	講義	若 林 一 哉	○		○	○	2				
28	04専門	2219	乳 児 保 育 (1)	2	講義	佐々木 美 子	○		○	○	2				
29	04専門	2220	子 ど も と 音 楽 (1)	1	演習	工 藤 里 砂子	○		○	○	2				
30	04専門	2221	子 ど も と 音 楽 (2)	1	演習	工 藤 里 砂子	○		○	○		2			
31	04専門	2234	情 報 技 術 (1)	1	演習	米 塚 清 子		○			2				
32	04専門	2235	情 報 技 術 (2)	1	演習	米 塚 清 子		○				2			
33	04専門	2236	教 育 実 習	4	実習	教職課程委員会		○				集中	集中		
34	04専門	2237	教育実習事前事後指導	1	演習	島 内・高 橋		○				1	1	1	1年:事前,事後各2回 2年:事前3回、事後1回 90分×8回
35	04専門	2238	保 育 者 論	2	講義	相 馬 玲 子			○	○	2				
36	04専門	2239	保 育 の 計 画 と 評 価	2	講義	佐々木 美 子			○	○		2			
37	04専門	2240	乳 児 保 育 (2)	1	演習	佐々木 美 子			○	○		2			
38	04専門	2241	保 育 実 習 (1)	4	実習	保育士課程委員会			○	○	集中	集中			
39	04専門	2242	保 育 実 習 指 導 (1)	2	演習	江 莉 川 淳 子			○	○	2				
40	04専門	2243	保 育 原 理 (2)	2	講義	—									開講せず
41	04専門	2244	子 ど も 家 庭 福 祉 (2)	2	講義	—									開講せず
42	04専門	2245	言 葉	2	演習	高 橋 直 樹	○	○	○	○		2			
43	04専門	2249	子 ども の 健 康 と 安 全	1	演習	佐々木 美 子			○	○	2				
44	04専門	2262	絵 本 学 (1)	2	講義	江 莉 川 淳 子					2				認定絵本士取得希望者
45	04専門	2263	絵 本 学 (2)	2	講義	江 莉 川 淳 子						2			認定絵本士取得希望者
46	04専門	2301	学 習 サ ポ ー ト			保育科教員室					1	1			

○: 免許・資格を取得するための必修科目

※免許・資格を取得するために履修が望ましい科目

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K11001		学園と地域を知る		2	15	講義	30	前期	1年	島内智秋			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
○													
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
		○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
	11. 計画を確実に実行する力(実行力)												
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											
③子どもにとって望ましい環境を理解している											○		
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている													
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる													
授業概要		建学の精神「教育即生活」をもとにした生活の中の学びをテーマとする。 生活や学びに必要な情報について学び、調べたり考えたりしたことをまとめて文字で表わす。 学園と地域を知り、地域や自身の将来について考える機会とする。											
授業の到達目標		生活や学び、地域理解についてに必要な情報や各回のテーマについて学び、調べたり深く考えたりする楽しさを知る。 建学の精神「教育即生活」について主体的にアプローチする。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	70 %	授業内提出物	%	その他	30 %						
フィードバックの方法		毎回の予習・復習カードにより対応する。											
教科書・教材		特に使用しない											
参考書・参考文献等		『柴田やす伝』 他、各テーマごとに書籍の紹介をする											
履修上の注意等		毎回の予習・復習カードの提出をすること。講義から興味を持ったことを更に調べたり考えたりすること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	オリエンテーション 短大で学ぶことについて					学生便覧を読み、持参すること				復習 (30分以上)			
2	教育即生活について					『柴田やす伝』読みを持参すること				復習 (30分以上)			
3	進路の決定と偶発の計画について					進路決定の過程を考える (30分以上)				復習 (30分以上)			

4	情報社会に着目した暮らしと学び	情報の入手の仕方や発信方法について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
5	学園の系列大学での学びを知る	学園の系列大学での学びについて (30分以上)	復習 (30分以上)
6	暮らしの中の所作の意味を考える	暮らしの中の所作を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
7	生命の繋がりについて (ヒト・動物・植物など)	生命の繋がりについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
8	家族に関する生活と学び① (結婚を考える)	結婚について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
9	家族に関する生活と学び② (子育てについて考える)	子育てについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
10	学生と社会人の違い。この地域のよさをよそものの視点から考える (野口拓郎先生)		復習 (30分以上)
11	地域×大学生生活の過ごし方を考える (石山紗希先生)		復習 (30分以上) ACアワー「"わ"はやってみる」
12	家族に関する生活と学び③ (子ども観・仕事・食・住まいについて考える)	自身の子ども観・仕事・食・住まいについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
13	家族に関する生活と学び④ (生活習慣・生活リズムについて考える) 質のいい睡眠を知ろう (西川輔先生)	自身の生活習慣や生活リズムを考える (30分以上)	復習 (30分以上)
14	校訓から見える暮らしと学び	校訓を読み意味を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
15	暮らしと学びのまとめ レポート作成	これまでの講義を振り返り課題の準備をする (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
K13001		倫理学		2	15	講義	30	前期	1年	齋藤雅俊				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アプリケーション 実務士	Webデザイン 実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター		
	○													
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○	
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○	
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○	
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○	
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-	
		労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○	
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○	
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○	
		保育科		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
				②子どもの心身の特性を知っている										○
				③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
				④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-
				⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題（価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反etc...）を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。												
授業の到達目標		倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計	100	%	
		期末レポート	40 %		授業内提出物	60 %		その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は返却する。												
教科書・教材		特になし。												
参考書・参考文献等		特になし。												
履修上の注意等		パワーポイントによるまとめプリントを配布する。配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意するとよい。生成AIを利用・参考にレポート等を作成した場合、単位認定を不可とする。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か？					シラバスを読んでおく（30分）				授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）				
2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義					前回の授業のプリントを読む（30分）				授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）				
3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法（カント倫理学）					前回の授業のプリントを読む（30分）				授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）				

4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福（ベンサム、ミル）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
5	自己利益の追求か、他者との協力か？（囚人のジレンマ）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
6	個人の権利か、社会の維持か？（自由主義と共同体主義）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
7	犯罪者の人権をめぐる問題（死刑、少年法等）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
8	性善説と性悪説	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
9	グローバル社会、移民をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
10	管理社会、監視社会をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
11	生存権、命の尊厳をめぐる問題（生命倫理）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
12	福祉をめぐる問題（自分の人生を優先するか、親の介護を優先するか）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
13	規範意識、ルールを守るということ（『星野君の二塁打』より）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
15	他者・世界のために生きるということ、「全体の奉仕者」とは？	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		心理学		2	15	講義	30	後期	1年	新田史暁			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活 科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							—
			社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							—
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							—
			多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							—
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							○
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							—
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)							—				
		保 育 科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける							○			
			②子どもの心身の特性を知っている							○			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している							○			
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている							—			
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる							—			
授業概要		学習、認知、発達、臨床などの主要な心理学の基礎的知見を概観し、人間の心理とその研究方法について理解を深める。											
授業の到達目標		① 学習、認知、発達、臨床などに関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の知見に基づき、身近な現象や実生活における自身の行動を説明できる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	70 %	授業内提出物	30 %	その他	%						
フィードバックの方法		授業内提出物を各回の冒頭でフィードバックする。											
教科書・教材		各回の授業時に資料を配布する。											
参考書・参考文献等		鹿取 廣人・杉本 敏夫・鳥居 修晃・河内 十郎(編) 心理学 第5版補訂版 有斐閣											
履修上の注意等		配布資料は各自保管し、復習に活用すること。また、授業内提出物は授業内容の理解度を把握するものでもあることに留意すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	心理学とは何か(オリエンテーション)					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。			
2	基礎心理学 動機づけ					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。			
3	学習心理学 条件づけ、観察学習					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。			

4	認知心理学① 記憶の二重貯蔵庫モデルと忘却のメカニズム	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
5	認知心理学② 感覚・知覚 物・形の見え方	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
6	発達心理学① ヒトの心理社会的発達	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
7	発達心理学② 愛着形成	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
8	発達心理学③ 家族の発達	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
9	性格心理学 パーソナリティの理論と形成	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
10	感情心理学 不快感情との向き合い方	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
11	社会心理学① 集団心理、攻撃	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
12	社会心理学② 説得	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
13	臨床心理学① カウンセリングとは	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
14	臨床心理学② 心理療法の理論	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
15	まとめ 生活と心理学	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		国語表現		2	15	講義	30	後期	1年	高橋直樹			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○		
				2. 技能を確実に習得(技能習得)							○		
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○		
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○		
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○		
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○		
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○		
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-		
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○		
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○		
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○				
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける							○			
			②子どもの心身の特性を知っている							○			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している							○			
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている							○			
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる							-			
授業概要		日常的に使用される実務的実用的な日本語表現をベースとして、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。											
授業の到達目標		正しい日本語表現のあり方を理解し、社会人としての確で簡明な表現能力を身につける。 書くこと・話すことの実践的表現能力を高める。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計		100	%	
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材		銅直信子・坂東実子「大学生のための文章表現&口頭発表練習帳 改訂第2版」国書刊行会											
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。											
履修上の注意等		グループワーク等による「主体的・対話的で深い学び」を実践する。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	紹介文 1 ―私の好きなもの（こと）―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
2	紹介文 2 ―私の故郷―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
3	賛成・反対の意見文 1 ―「身近な問題」をテーマに―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			

4	賛成・反対の意見文 2 —「社会的な問題」をテーマに—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
5	before/afterの文章 1 —○○になる (を)する 前と後—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
6	before/after の文章 2 —○○になる (が)できる 前と後—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
7	対立項と時間軸のある文章—調査年度の異なる統計資料を読んで—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
8	紹介スピーチ 1 —私の好きなもの (こと) —	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
9	紹介スピーチ 2 —私の故郷—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
10	紹介スピーチ 3 —私のおすすめの本—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
11	新聞/雑誌記事紹介	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
12	意見の主張—賛成・反対の意見—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
13	ディスカッション	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
14	ディベート	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
15	プレゼンテーション—アンケート調査結果発表—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K12501		法学		2	15	講義	30	前期	1年	小野昇平		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アセス テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○	○									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力					該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)					○
							2. 技能を確実に習得(技能習得)					-
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)					○
							4. 状況を総合的に判断する(判断力)					-
							5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)					-
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)					○
							7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)					-
							8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)					-
							9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)					○
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)					-
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)					-					
保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
	②子どもの心身の特性を知っている										-	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-	
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-	
授業概要		憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例を通じて憲法の実在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようになることと目的とします。										
授業の到達目標		①憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ②憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようになること。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	80 %	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		毎回のコメントシートに書かれた受講生の考えを踏まえて次週に解説を行う。										
教科書・教材		日本国憲法の条文を用意して授業にのぞむこと。Webから印刷したものでも、中高の社会の教科書などでも可。										
参考書・参考文献等		授業中に指示する。										
履修上の注意等		スライドを使用して授業を行う。ノートは不要だが赤青黒のペン（鉛筆可）と、赤青の蛍光ペンを用意するとよい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	憲法の中身を見てみよう					憲法の条文を読んでくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
2	「私たちの」国と憲法：国会・内閣・裁判所の役割はなんだろう？					「権力分立」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
3	国民主権：選挙は何のためにあるのだろうか？					衆議院議員選挙、参議院議員選挙のここ2回分の年代別投票率を調べてくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。			

4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題	自衛隊が普段どのような活動をしているのか。何のためにあるのかを調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
5	憲法9条の成り立ち	自衛隊が日本以外のどのような場所でどのような活動をしているのか調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
6	投票できない人もいる？—選挙権と憲法15条	国政選挙で投票できない人はどのような人か、それはなぜか調べてくる。2時間	授業のスライドを見返しておく。1時間。
7	性犯罪継続監視法とプライバシーの権利	配布された資料（性犯罪継続監視法）をよく読んで、自分の考えをまとめてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
8	一票の較差と平等—憲法14条と平等権	「一票の較差」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
9	男女の不平等！？：夫婦同姓制度と憲法14条、24条	「夫婦別姓問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
10	「家族」と憲法：同性婚が認められないのはなぜだろう	「同性婚問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
11	ピアノ伴奏をしたくありません！—思想の自由と憲法19条	「思想良心の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
12	剣道は履修できないのですが……—信教の自由と憲法20条	「信教の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
13	人を傷つけるような表現はダメ！：表現の自由と憲法21条	「表現の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
14	教育は誰のため？何のため？：教育を受ける権利と憲法26条	「教育を受ける権利」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
15	憲法とは何のためにあるのだろう？	「アラブの春」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13001		経済学		2	15	講義	30	前期	1年	米塚清子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○		△	△	△	△	△	△	△	△		
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○		
				2. 技能を確実に習得(技能習得)						-		
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○		
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-		
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						-		
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						-		
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-		
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-		
			労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○		
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-		
11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-						
保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○					
	②子どもの心身の特性を知っている						-					
	③子どもにとって望ましい環境を理解している						-					
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-					
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						-					
授業概要		本授業では、私たちの生活と密接に関わる「経済」の基本的な仕組みについて学ぶ。経済学の基本的知識である価格、インフレとデフレ、金利、株式、財政、為替、貿易などを解説する。										
授業の到達目標		ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を、身近な事例を通して理解することを目的とする。経済学的な考え方を身につけ、ニュースや社会の動きを自分で読み解く力を養う。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%		計 100 %
		期末レポート	30 %		授業内提出物	20 %		その他	%			
フィードバックの方法		授業内提出物を採点評価し、次の時間に返却する。										
教科書・教材		教科書は特に指定しない。授業時に教材を配布する。										
参考書・参考文献等		横浜国立大学経済学部テキスト・プロジェクトチーム（編集）／『ゼロからはじめる経済入門 ― 経済学への招待』有斐閣コンパクト。 その他の参考文献等は、その都度授業内で紹介する。										
履修上の注意等		授業計画は、進捗状況を見ながら変更する可能性がある。 授業には、ノートブックパソコンを持参することが望ましい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	経済学とは何か 経済学が、日常生活にどのように関わるかについて考える。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)			
2	モノの値段はどう決まるのか 経済的基礎条件の分析に必要とされる、マーケットメカニズムを学ぶ。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)			
3	好況や不況はどう決まるのか インフレとデフレの仕組みについて学び、それぞれのメリットとデメリットを理解する。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)			

4	景気変動はなぜ生じるのか 大戦後の経済史をふり返りながら、景気変動の仕組みについて学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
5	金融とは何か 金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
6	金利はどう決まるのか 金融市場における金利決定メカニズムの仕組みを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向について決定する。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
7	日銀は何をしているのか 日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
8	株の仕組みはどうなっているのか 株式のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
9	政府と経済とはどんな関係があるのか 政府の財政政策が、経済の重要な調整機能となっていることを学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
10	自由貿易と保護貿易 なぜ外国からものを買うのか、貿易をやめると幸せになれるのか。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
11	為替とは何か 円高と円安の仕組みを学び、我々の日常生活と関連づけて考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
12	為替相場 政府の為替介入が抱える2つの問題を考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
13	国際金融危機 投資ブームと為替の恐怖について考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
14	世界経済をどう見るか 国内と世界の両方に目を向け広い視野で考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)
15	まとめ	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する (90分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		教養の化学		2	15	講義	30	前期	1年	柳町悟司			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)							
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)											
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
			②子どもの心身の特性を知っている										
			③子どもにとって望ましい環境を理解している										
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		一般的な化学反応について学んだ後、栄養素と体内物質の化学反応(代謝)、また、地球上で起こっている化学反応について学ぶ											
授業の到達目標		体内での化学反応(代謝)が生命維持のためにどのような役割を果たしているかを理解できるようになる											
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する											
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)											
参考書・参考文献等													
履修上の注意等		高校で履修した化学を基礎とした内容ばかりではないが、理解するように努めてほしい											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	ガイダンス 授業の進め方に関する説明					不要				配布プリントの復習等・30分以上			
2	化学合成 目的とする物質の合成法					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習等・30分以上			
3	化学量論 物質質量について					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習等・30分以上			

4	化学量論 化学反応式について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
5	発酵 細菌の関与する化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
6	化学反応とエネルギー 発熱反応・吸熱反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
7	代謝の概要 体内で起こる化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
8	代謝の個人差 体内で起こる化学反応(遺伝子が関与する化学反応)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
9	糖質の代謝 糖質の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
10	脂質の代謝 脂質の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
11	タンパク質の代謝 タンパク質の合成	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
12	ミネラルの代謝 塩分の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
13	大気化学 大気中で起こっている化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
14	海洋化学 海水中で起こっている化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
15	自発的に起こる化学反応 エンタルピーとエントロピー	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
K13001		教養の生物学		2	15	講義	30	後期	1年	柳町悟司				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター		
	○													
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)								
		保育科		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
				②子どもの心身の特性を知っている										
				③子どもにとって望ましい環境を理解している										
				④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
				⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを通じて、人類を含む生物に関する理解を深める												
授業の到達目標		新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを理解できるようになる												
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%							
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する。												
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)												
参考書・参考文献等		羊土社 文系のための生命科学 ほか												
履修上の注意等		高校で履修した生物学を基礎とした内容ばかりではないが、理解するように努めてほしい												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	生物とは何か 地球上で初の生命はどのように誕生したか					シラバスに記載されている内容の確認				配布プリントの復習・60分以上				
2	生物の進化1 突然変異、生物多様性、食物連鎖					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
3	生物の進化2 人類の誕生					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				

4	遺伝子1 遺伝子と体質の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
5	遺伝子2 ジャンクDNA	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
6	遺伝子3 DNAスイッチ, 遺伝子の発現	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
7	人類1 人類が引き起こした環境破壊の影響	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
8	人類2 農業が人類の進化に及ぼした影響	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
9	他生物との共存1 ヒトと家畜の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
10	他生物との共存2 ヒトと腸内細菌の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
11	他生物との共存3 生物の自己家畜化	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
12	人類の進化1 生物の持つ闘争本能	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
13	人類の進化2 争いが人類に及ぼした影響	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
14	人類の進化3 人類はこれまでどのように進化してきたか	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
15	人類の進化4 人類は今後、どのように進化する可能性があるか	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13002		キャリア基礎		1	7.5	演習	15	後期	1年	米塚清子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活 科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○	
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○	
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						○	
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○	
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-	
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○	
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○	
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-	
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-	
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○	
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-	
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-					
		保育 科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						-				
			②子どもの心身の特性を知っている						-				
			③子どもにとって望ましい環境を理解している						-				
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-				
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						-				
授業概要		キャリアの本質を理解し、仕事や人生に対する自分なりの考えを深める。豊かな日常生活や学校生活を実現するために、ビジネスマナーやコミュニケーション、社会人基礎力を習得する。学びと実践を繰り返しながら、自らの成長を実感し、将来のキャリアにつなげていく。											
授業の到達目標		自分の価値観や強みを理解し、将来のキャリアについて考えられるようになる。 社会で求められる基本的なコミュニケーション力やビジネスマナーを身につける。 ストレス管理や自己管理の方法を学び、充実した学校生活・社会生活を送る基礎を築く。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	30	%	計 100 %				
		期末レポート	30 %	授業内提出物	40 %	その他		%					
フィードバックの方法		授業ごとに自己評価を行い、学びの定着度を確認する。											
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配布する）。											
参考書・参考文献等		特になし											
履修上の注意等		自分自身のキャリアについて考える機会として、主体的に学ぶことが求められる。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	キャリアとは何か キャリアの定義・キャリアデザインの基本・キャリアの必要性・社会の変化とキャリアについて					授業の予習時間・30分				課題時間・30分			
2	コミュニケーションの基本 「聞く・話す・伝える」の基本、相手に伝わる話し方、相槌や表情の大切さ					授業の予習時間・30分				課題時間・30分			
3	自己主張と自己開示 学校生活での人間関係の築き方、敬語の基本、適切な距離感の保ち方					授業の予習時間・30分				課題時間・30分			

4	チームでの協力 チームビルディングの必要性、グループワークの進め方、意見のまとめ方、リーダーシップとフォロワーシップ	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
5	社会人基礎力とビジネスマナー 社会で求められるスキル・ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・言葉遣い・メールの書き方・SNSの使い方 など）	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
6	自分を整える力：セルフマネジメント 日常生活や学校生活において生じるストレスへの適切な対応方法	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
7	自己分析：未来につなげる自己探求 自分の価値観や特性を理解し、強みや課題の明確化	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
8	キャリア形成に向けた第一歩 自分の強み・弱みの分析、行動計画を立てる 学んだことの整理と振り返り	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		津軽を探る		1	7.5	講義	15	後期	1年	米塚清子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活 科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
			多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-				
									-				
		保育 科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける							-			
			②子どもの心身の特性を知っている							-			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している							-			
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている							-			
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる							-			
授業概要		津軽に住む、様々な方面で活躍するゲストスピーカーの話聞き、津軽への愛着を深める。											
授業の到達目標		ゲストスピーカーの話を通して地域社会の多様な取り組みを理解する。 津軽の魅力や課題について自分の考えを言葉で表現できる。 津軽の未来について主体的に考え、意見をまとめることができる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	30	%	計 100 %				
		期末レポート	40 %	授業内提出物	30 %	その他		%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。											
参考書・参考文献等		津軽に学ぶ会「津軽学」(シリーズ) 「ひろさき読解本」(津軽ひろさき歴史文化観光検定公式テキスト)弘前観光コンベンション協会											
履修上の注意等		ゲストスピーカーの都合等により不規則な開講になる可能性があります。詳細は初回時に伝えます。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	オリエンテーション 津軽への興味関心を高める					左記に関することをネット検索等 で授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)			
2	弘前に観光施策 ※ ゲストスピーカーによる授業					左記に関することをネット検索等 で授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)			
3	津軽の歴史 ※ ゲストスピーカーによる授業					左記に関することをネット検索等 で授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)			

4	岩木山の魅力 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べる (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
5	津軽の食材と食文化 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べる (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
6	津軽の伝統楽器津軽三味線 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べる (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
7	津軽で夢をかなえる アイドルの挑戦 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べる (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
8	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己 評価する (30分以上)	期末レポートに取り組む (60分以上)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
K11001		現代作法学		2	15	講義	30	前期	1年	米塚清子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター		
○														
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○		
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)									○	
				2. 技能を確実に習得(技能習得)									○	
				社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)									○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)									○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									○
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									○	
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									○	
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									○	
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									-	
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									-	
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)									-			
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○		
			②子どもの心身の特性を知っている									-		
			③子どもにとって望ましい環境を理解している									○		
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									-		
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○		
授業概要		学生・社会人として身につけることが望まれる基本マナー、訪問と対応のマナー 言葉づかいと人間関係のマナー手紙・ビジネス文書のマナー、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー等から学ぶ。												
授業の到達目標		日本文化としての礼儀作法について、成り立ちと意味を理解する。さらに作法(マナー)の実際を学び、日常生活に活かしながら身につける。												
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	20 %	計 100 %						
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%							
フィードバックの方法		レスポンスシートや小テスト等の提出課題について添削、返却をする。												
教科書・教材		使用しない(授業内容に応じて適宜プリントを配付する)。												
参考書・参考文献等		『新生活教養―社会人としての基本マナー』(建帛社)ほか												
履修上の注意等		授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。授業計画は、進捗状況によって変更することがある。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	オリエンテーション 現代作法学を学ぶことの意義並びに礼儀作法について 挨拶について					事前にシラバスを読み、当科目の意義を考えておくこと。				授業後に小レポート(400字程度)を作成し、次回授業で提出すること。 (60分以上)				
2	手紙・ビジネス文書のマナー(1) 郵便知識とビジネス用語					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)				プリントやノートをしっかりと整理する。知らない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)				
3	手紙・ビジネス文書のマナー(2) 手紙(はがき・封書)のマナー、メール・ビジネス文書のマナー					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)				プリントやノートをしっかりと整理する。知らない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)				

4	電話応対電話応対の心構え、かけ方・受け方のマナー、その他の通信機器 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
5	基本マナー(1) ～立ち居振る舞いの基本①～ お辞儀の基本・服装・身だしなみ	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
6	基本マナー(2) ～7立ち居振る舞いの基本②～ 応対の基本姿勢、物の持ち方・渡し方	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
7	基本マナー(3) グループワーク 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
8	言葉づかいと人間関係 ～コミュニケーションと言葉～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
9	社会人としての基本マナー(1) ～職場のルールとマナー～ 職場の基本ルール、職場の仕組みと仕事の進め方のルール、身だしなみについて	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
10	社会人としての基本マナー(2) ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
11	社会人としての基本マナー(3) ～来客応対～ 来客応対の心得、受付の仕方、取り次ぎの仕方、案内の仕方 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
12	社会人としての基本マナー(4) ～来客応対～ 緑茶の種類と入れ方・出し方、緑茶以外の飲み物、緑茶の種類と入れ方・出し方の実際他 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
13	社会人としての基本マナー(5) ～席次のマナー～ 席次の考え方、応接室の席次、会議室の席次、乗り物の席次	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
14	食事のマナー ～T.P.Oにに応じた食事のマナー～ 旅行のマナー ～旅行の際に心がけたい事柄～ 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
15	冠婚葬祭 ～慶弔贈答のマナー～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13002		音楽		2	15	演習	30	後期	1年	金山茉莉花		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	○	
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						-
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-
	保育科					①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						
		②子どもの心身の特性を知っている										-
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										-
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-
授業概要		・音楽に親しみを持って関わることで、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽への興味・関心を高める。 ・表現と鑑賞の実体験を通して、音楽文化の多様性について自分なりに考察する。										
授業の到達目標		・音楽に親しみを持って関わることで、音楽を愛好する心を養う。 ・表現や鑑賞を通して、音楽文化の変遷に気づき、文化の多様性を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	—	%	授業内小テスト	—	%	授業内活動	30	%	計 110 %	
		期末レポート	40	%	授業内提出物	40	%	その他	—	%		
フィードバックの方法		・授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 ・翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。										
教科書・教材		使用しない。(授業時に適宜資料を配布します。)										
参考書・参考文献等		授業時に随時紹介します。										
履修上の注意等		・体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。 ・音楽経験の有無(高校での芸術選択も含む)に関係なく、「音楽の楽しさや良さを知る」姿勢を大切に、授業に臨みましょう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション・これまでの音楽の学びの振り返り					図書館やインターネット等で関連する内容を調べる。(目安として1週間あたり90分以上)			授業で配布する資料等を参考に復習する。(目安として1週間あたり90分以上)			
2	声を使った表現①—1980年代から2000年代に流行したポピュラー音楽					〃			〃			
3	声を使った表現②—2010年以降に流行したポピュラー音楽					〃			〃			

4	体を使った音楽表現①—即時反応	〃	〃
5	体を使った音楽表現②—音の高低・強弱・速度	〃	〃
6	楽器を使った表現①—小物打楽器	〃	〃
7	楽器を使った表現②—太鼓、シンバル	〃	〃
8	楽器を使った表現③—鍵盤打楽器	〃	〃
9	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現① —楽器の特徴や扱い方について	〃	〃
10	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現② —簡単な曲の演奏	〃	〃
11	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現③ —クリスマスソングの読譜	〃	〃
12	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現④ —クリスマスソングの演奏	〃	〃
13	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現⑤ —表現方法の工夫	〃	〃
14	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現⑥ —クリスマスミニ音楽会	〃	〃
15	まとめ—期末レポートの作成	〃	〃

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13002		英語(1)		2	15	演習	30	前期	1年	ウォータース雅代		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										-
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										-
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業の到達目標		高校までに学習した基礎的英文法を復習しながらスピーキングとリスニング、リーディング、ライティングという英語の4技能と組み合わせながら学び、総合的な英語力の基礎を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は採点后返却する。										
教科書・教材		Simply Grammar (Revised Edition) シンプルセンテンスで学ぶ基本英文法 (改訂版) NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17831-6										
参考書・参考文献等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること										
履修上の注意等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション / Unit 1 動詞 (1) be動詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
2	Unit 2 動詞 (2) 一般動詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
3	Unit 3 未来形 ・ Unit 4 助動詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
4	Unit 5 冠詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
5	Unit 6 代名詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
6	Unit 7 前置詞					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			

7	Unit 8 接続詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
8	Unit 9 進行形	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
9	Unit 10 受動態 (受け身)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
10	Unit 11 完了形 (現在完了 / 過去完了)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
11	Unit 12 比較	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
12	Unit 13 不定詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
13	Unit 14 動名詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
14	Unit 15 関係詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
15	Unit 16 仮定法	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K11551		保健体育		1	7.5	講義	15	後期	1年	今和香子・佐藤裕		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		健康に過ごすために自分の健康状態に目を向け、運動と健康の関係について理解を深め、健康を保つための方法について学ぶ。										
授業の到達目標		授業計画にそった内容を理解する										
単位認定の方法		期末試験	100	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計	100	%	
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		・授業内提出物返却時に解説する。 ・新体力テスト及びQOL健診実施結果返却時に解説する。										
教科書・教材		特になし。資料を配布する。										
参考書・参考文献等		新高等保健体育（大修館書店）・スポーツ文化論										
履修上の注意等		新体力テスト・QOL健診実施時は、体育館にて実施する。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	・保健体育についての概略説明 ・「健康」とは何か、自分の意識及び健康の定義について知る。								プリントによる講義概要把握と自分の健康状態に目を向ける：30分			
2	・「体力」の定義を確認する。 ・「新体力テスト」実施結果をもとに、自己の現在の体力について考察する。					「体力」について各自調べる (30分)			講義内容の復習（30分）			
3	・有酸素運動と無酸素運動の特徴と健康との関わりについて					有酸素運動・無酸素運動について予習 (30分)			講義内容の復習（30分）			
4	・健康と運動の関係について理解し、自己の運動実践依について考察する。					自分の運動習慣についてまとめておく。 (30分)			講義内容の復習（30分）			
5	・トレーニングの基本と実施について					トレーニング方法について予習する。 (30分)			講義内容の復習（30分）			
6	・QOL健診実施結果から、自己の生活習慣について考察する。					QOL健診実施上の注意を確認する。 (30分)			講義内容の復習（30分）			

7	・生活習慣と健康について	自分の生活習慣についてまとめておく。(30分)	講義内容の復習(30分)
8	講義内容のまとめ(テスト)	講義内容を復習し、自分の健康について考察する。(1時間)	テスト結果を確認し、健康な生活を営むための実践を考える。(30分)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K11553		体育実技		1	15	実技	30	前期	1年	神 和人		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										-
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		運動処方の実施から始まり、各種スポーツの技術習得										
授業の到達目標		スポーツの楽しさを学び、生涯運動を継続するために「協力」礼儀」「尊重」を学ぶ										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	70	%	授業内活動	30	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物		%	その他		%			
フィードバックの方法		チーム戦術についてはチームごとに解説する。										
教科書・教材		プリント・用具での説明										
参考書・参考文献等		特になし										
履修上の注意等		運動をするための服装と規則の厳守										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	授 業 計 画					授業時間外学習						
2	体育実技のガイダンス：授業内容説明					準備運動の実施（ストレッチング）：30分			運動実施に向けた準備：20分			
3	体づくり運動（柔軟性・有酸素系）					準備運動の実施（ストレッチング）：30分			実技内容を理解し実施：30分			
4	体づくり運動（筋力・敏捷性）					準備運動の実施（ストレッチング）：30分			実技内容を理解し実施：30分			
5	バドミントンのガイダンス及びラケット・シャトルについて					準備運動の実施（ストレッチング）：30分			ラケット・シャトルとの距離把握：30分			
6	バドミントンの基本技術習得（ハイクリアー・ヘアピン）					準備運動の実施（ストレッチング）：30分			打点の確認：20分			

7	バドミントンの基本技術習得（ドロップ・ドライブ）	ラケットと打点の確認：30分	身体とシャトルを打つ位置確認：30分
8	バドミントンの基本技術習得（スマッシュ・レシーブ）	ハイクリアーの打点確認：30分	コンパクトな振り：20分
9	バドミントンの基本技術習得（ゲーム方法・ルール・テスト練習）	チーム戦術の構築：30分	個人の役割とチーム戦術：40分
10	バドミントンの小テスト	チーム役割の確認：30分	チームとしての検証：30分
11	ソフトバレーボールのガイダンス	準備運動の実施（ストレッチング）：30分	ボールとの慣れ：20分
12	ソフトバレーボールの基本技術習得（レシーブ・トス）	正確なレシーブ・トス：30分	ボールのコントロール：30分
13	ソフトバレーボールの基本技術習得（サーブ・アタック・ブロック）	ボールをコンパクトに打つ練習：30分	コンパクトな振り方・ブロック時の手の確認：30分
14	ソフトバレーボールの基本技術習得（ゲーム方法説明・ルール・テストに向けた戦術）	アタックのコンパクトな打法習得：30分	チーム戦術：30分
15	ソフトバレーボールのテスト	戦術確認：30分	勝敗についての検証：30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21211		教育原理と教職論		2	15	講義	30	後期	1年	齋藤雅俊	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						
	○	○	○	○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									-
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		「教育とは何か」という本質的な問いを念頭におきつつ、教職に関わる内容や、教育史における教育観・教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、幼稚園教諭・保育士として、現実の教育・保育実践において出会うであろう様々な出来事に関しても「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考えていく。									
授業の到達目標		教育実践のための基礎力を身につけるべく、①教育の本質と目的、意義と理念、②教職の意義、役割や職務内容、③これまでの教育史の歩み、について理解し、レポート等で表現できる。									
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		
		期末レポート	40 %		授業内提出物	60 %		その他	%		
		計 100 %									
フィードバックの方法		授業内提出物等は返却する。									
教科書・教材		特になし。									
参考書・参考文献等		牛渡淳『教育学原論－教育の本質と目的』中央法規、2000年。									
履修上の注意等		パワーポイントによるまとめプリントを配布する。配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意するとよい。単位認定には期末レポート（2種）の提出を必要とする。なお、生成AIを利用・参考にレポート等を作成した場合、単位認定を不可とする。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間		授業後・時間			
1	ガイダンス&教育の基本的概念① 「教育とは何か（意味や意義から）」					シラバスを読んでおく（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
2	教育の基本的概念②「個性や自主性について」					前回の授業のプリントを読む（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
3	教育の基本的概念③「素質か環境か」					前回の授業のプリントを読む（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
4	教育の基本的概念④ 「教育の行われている〈場〉（学校・家庭・社会）」					前回の授業のプリントを読む（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
5	教職の意義、教員の役割・職務について①「教職とは」					前回の授業のプリントを読む（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
6	教職の意義、教員の役割・職務について② 「教員の役割・職務等」					前回の授業のプリントを読む（30分）		授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			

7	教職の意義、教員の役割・職務について③ 「教員に求められる資質・能力等」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
8	教職の意義、教員の役割・職務について④ 「チーム学校・学び続ける教師等」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
9	教育に関する歴史及び思想①～② 「古代ギリシャ、ヘレニズム・ローマ時代の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
10	教育に関する歴史及び思想③「中世の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
11	教育に関する歴史及び思想④ 「近世（15～17世紀）の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
12	教育に関する歴史及び思想⑤「近代（18世紀）の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
13	教育に関する歴史及び思想⑥「近代（19世紀）の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
14	教育に関する歴史及び思想⑦「現代（20世紀）の教育」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
15	教育に関する歴史及び思想⑧「就学前教育の歴史」	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21221		教育心理学		2	15	講義	30	前期	1年	高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		子どもの心の発達に関する教育心理学の基礎を学ぶ。 毎回、その日の講義内容に関する小レポート課題を課す。										○
授業の到達目標		子どもの心理の特徴を理解し、それをふまえて保育を行う際の工夫や配慮を述べることができる。										
単位認定の方法		期末試験	70 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		斎藤富由起・守谷賢二『教育心理学の最前線』八千代出版										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		教科書は毎回必ず持参すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション					インターネット等で「教育心理学」を検索するなどして、教育心理学とはどのような学問なのかについて各自で調べる（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
2	教育心理学総論					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
3	発達の理解					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
4	発達の諸相					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
5	記憶と知能					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
6	学習理論と認知理論による「学び」					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			

7	学びの形式と学習方略	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
8	動機づけ	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
9	学級経営と集団への支援	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
10	学習評価	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
11	特別支援教育と発達障害	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
12	アクティブ・ラーニングとICT教育	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
13	学校不応	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
14	教育相談	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
15	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたか、自己評価を行う（30分以上）	全15回分の授業で学習した内容について、復習する（30分以上）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		図画工作基礎(1)		1	15	演習	30	前期	1年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-
授業概要		子どもの発達過程を通して、小学校図画工作を視野に入れながら、幼児の造形活動の特色について実践的に理解する。特に様々な紙を材料として、ハサミやカッターなどの用具の使い方を徹底して身につけるため、紙の特性を生かした造形遊びや立体、折り紙、行事に関した飾り物などを製作する。										
授業の到達目標		幼児の造形活動に必要な様々な材料や用具に関する理解を深め、造形表現の基本的な知識や技能を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%		
		期末レポート	%		授業内提出物	50		%		その他	%	
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設け、その際に開設する。また展示の仕方を工夫し、振り返りができるようにする。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		関連の資料プリントを配布したり、授業中に適宜、紹介する。										
履修上の注意等		提出物は必ず提出するようにすること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション、造形表現の意義、前期授業の進め方について、幼稚園教育要領・保育所保育指針と小学校学習指導要領図画工作					幼稚園教育要領の内容を概観する。30分。			学習内容を整理する。30分。			
2	材料・用具（ハサミ・カッター）、お面の帯を作成					幼稚園教育要領の内容を理解する。30分。			用具の様々な使い方を繰り返し行って身に付け、お面の帯が未完成の場合は、完成させる。30分。			
3	お面づくり					作りたいお面について考える。30分。			お面が未完成の場合は完成させる。30分。			
4	折り紙：様々な折り方の習得					折り方について調べる。30分。			折り紙による提出物の完成。30分。			
5	観察画（スケッチ）、写生1「春の芽吹きを探そう！」					材料・用具の準備。10分。			未完成の場合はスケッチを完成させる。30分。			
6	写生2「春の芽吹きを探そう！」（着色）、押し花					材料・用具の準備。10分。			未完成の場合はスケッチを完成させる。30分。			

7	造形練習（明度）とシオリづくり	材料・用具の準備。10分。	学習内容の整理。30分。
8	美術館訪問（弘前れんが倉庫美術館）	展示される作家について調べる。30分。	鑑賞の振り返り。30分。
9	造形練習（グラデーション、コントラスト）の課題	材料・用具の準備。10分。	製作の振り返り。30分
10	造形練習（グラデーション、コントラスト）の課題完成 造形遊びについて、材料準備	造形練習の続き。30分。	次回の材料の準備。30分。
11	造形遊びの実践	活動の準備。10分。	活動の振り返りをする。30分。
12	立体製作：小さな生き物① 参考作品の鑑賞と製作	作りたい生き物の特徴について調べる。製作物の準備。30分。	遅れている場合は、製作の続きをする。30分。
13	立体製作：小さな生き物② 作品の完成と鑑賞。	製作の準備。30分。	完成した作品の展示。30分。
14	行事をテーマに壁画製作① グループ活動：発想・構想について	材料・用具の準備。10分。	構想を完成させる。30分。
15	行事をテーマに壁画製作② グループ活動	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		図画工作基礎(2)		1	15	演習	30	後期	1年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-
授業概要		造形表現の基本的な知識や技能を身につけるための造形練習、モダンテクニックなどの実践を通して、自己表現の制作にとりくむ。また幼児を対象とした題材を構想し、試作品と指導計画書を作成する。										
授業の到達目標		幼児の造形活動に必要な様々な材料や用具に関する理解をさらに深め、造形表現の基本的な知識や技能を身につけるとともに、独自に題材を構想し、試作品を作りながら指導計画書を作成できる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設け、その際に解説する。また提出物は展示をし、振り返りができるようにする。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		授業中に適宜紹介する。										
履修上の注意等		提出物は必ず提出するようにすること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション：後期の授業について、行事をテーマに壁画製作③ グループ活動					材料・用具の準備。10分。			進捗状況に合わせて製作。30分。			
2	行事をテーマに壁画製作④ グループ活動					材料・用具の準備。10分。			進捗状況に合わせて製作。30分。			
3	行事をテーマに壁画製作⑤ グループ活動 完成／鑑賞					鑑賞のための作品準備。10分。			完成に向けて進める。30分。			
4	モダンテクニックの実践（様々な描画材料と技法）					モダンテクニックの材料・用具を準備する。10分。			モダンテクニックの材料・用具の片付け。10分。			
5	コラージュ技法を取り入れた表現①「現代社会の風景」参考作品の紹介、資料収集と発想・構想					課題について自分のテーマを考える。30分。			材料・用具の後片付け。10分。			
6	コラージュ技法を取り入れた表現②「現代社会の風景」技能					表現の手順について考える。30分。			材料・用具の後片付け。10分。			

7	コラージュ技法を取り入れた表現③「現代社会の風景」技能	表現の手順について考える。30分。	材料・用具の後片付け。10分。
8	コラージュ技法を取り入れた表現④「現代社会の風景」完成	自分のテーマに沿った材料・用具の準備。30分。	材料・用具の後片付け。10分。作品が完成していない場合は完成させる。30分以上。
9	コラージュ技法を取り入れた表現⑤「現代社会の風景」振り返りシートの作成、鑑賞	振り返りシートや鑑賞の準備。30分。	振り返りをまとめる。30分。
10	ミニクリスマスツリー製作①	参考作品の鑑賞。10分。	材料・用具の後片付け。10分。作品が完成していない場合は完成させる。30分以上。
11	ミニクリスマスツリー製作②	材料・用具の準備。10分。	作品を展示する。30分。
12	自由課題① 題材についての説明、参考作品の紹介、題材考案と構想	参考作品の鑑賞。10分。	題材について準備する。30分。
13	自由課題② 試作	試作のための材料・用具の準備。30分。	試作を続ける。30分。
14	自由課題③ 試作と指導計画案の作成	個人計画書の準備。10分。	試作と個人計画書の完成。30分。
15	自由課題④ 自由課題と指導計画案の発表、振り返り	鑑賞のための提出物を展示する。10分。	振り返りをまとめる。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		運動あそび(1)		1	15	演習	30	前期	1年	今和香子 佐藤裕		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		乳幼児の身体発達や運動能力を広義に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。										○
授業の到達目標		・幼児期における運動遊びの必要性を理解する。 ・幼児の運動遊びについて理解を深める。 ・身体運動・身体表現に関する基本的な知識・技術を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	20	%	計	100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他		%			
フィードバックの方法		・毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）終了後に解説する。 ・授業内小テスト返却時に解説する。 ・授業内提出物返却時に解説する。										
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」・不味堂出版										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。										
履修上の注意等		テキストを参考に幼児の運動遊びについて調べ、講義終了後に指導上の留意点についてまとめる。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児期における運動遊びの必要性を学ぶ。 (基本ステップを継続的に実施し、身体表現の技能を身に付ける)					テキストを参考に内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	幼児向けに創作された体操について学ぶ。					幼児向け体操について調べる。 ・20分			講義内容をノートにまとめる。 幼児体操の動きを復習する。 ・40分			
3	歩く・走る・跳ぶなどの基本動作をリズムに合わせて動く。					テキストを参考に基本動作を調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	基本動作の応用①基本動作にジャンケンを加えて、発展させた遊びを体験する。					テキストを参考に基本動作の発展遊びを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	基本動作の応用②投げる・蹴るなどの基本動作を中心に、的当て・的入れの遊びを体験する。					テキストを参考に基本動作を用いた的当ての入れの遊びを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	リズム表現① 基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。 さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。					既習の基本ステップを確認する。 ・20分			講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせたステップを復習する。 ・40分			

7	リズム表現② タンバリン・鈴などを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。	タンバリン・鈴などを用いた身体表現の動きを考える。 ・20分	講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせた身体表現の復習をする。 ・40分
8	リズム表現③共通の題材を基にグループごとにオリジナルの動きや隊形を考える。	オリジナルの動きを考えやグループの隊形を考える。 ・20分	講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせた身体表現の復習をする。 ・40分
9	わらべ歌を用いた遊びを体験する。	わらべ歌を用いた遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 それぞれのグループの動きや隊形を復習をする。 ・40分
10	幼児向けのフォークダンスを体験する。 用語を理解しながら、指導法を学習する。	幼児向けフォークダンスについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを体験する。	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを体験する。 水遊びの遊具を制作し活動を検討する。 水遊び指導上の留意点等を知る。	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを調べる。 水遊びに使えるような身近な材料を探す。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 幼児向けフォークダンスの復習をする。 ・30分
13	「水遊び（水の中での遊び中心）」の特徴・効果・円寿の留意点について実践的に学習する。集中講義（1）	テキストで「水遊び」の特徴・効果・援助の留意点を再確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	「水遊び（水の中での遊び中心）」の特徴・効果・援助の留意点について実践的に学習する。集中講義（2）	テキストで「水遊び」の特徴・効果・援助の留意点を再確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの学習を振り返る。	講義全体を通しての疑問などをまとめておく。 ・30分	運動遊び（1）の内容を整理する。 ・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		運動あそび(2)		1	15	演習	30	後期	1年	今和香子 佐藤裕		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園 教諭	ベビー シッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目 に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		乳幼児の身体発達や運動能力を広義に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。										○
授業の到達目標		・ 幼児期における運動遊びの必要性を理解する。 ・ 幼児の運動遊びについて理解を深める。 ・ 身体運動・身体表現に関する基本的な知識・技術を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	20	%	計	100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他		%			
フィードバックの方法		・ 毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）終了後に解説する。 ・ 授業内小テスト返却時に解説する。 ・ 授業内提出物返却時に解説する。										
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」・不味堂出版										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。										
履修上の注意等		テキストを参考に幼児の運動遊びについて調べ、講義終了後に講義内容（指導上の留意点など）についてまとめる。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	小型遊具（ボール・フープ・縄）を使った遊びの特徴・内容を学習する。 （縄跳びを継続的に実施し、体力の向上も図る。）					テキストを参考に小型遊具を使った遊びを考える。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			
2	ボール遊び①ボールを使った遊びの効果や特徴などを実践を通して理解し、指導法を学習する。					ボール遊びについて調べる。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			
3	ボール遊び②ボールを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。					ボールを使った基本動作を確認する。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			
4	ボール遊び③簡単なルールを用いたボールゲーム（転がしドッジボール・ドッジボールなど）を体験し指導法を学習する。					ボールゲームについて調べる。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			
5	フープ遊び①フープを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。					フープ遊びについて調べる。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			
6	フープ遊び②フープを使った基本動作を応用させて遊びを体験し、指導法を学習する。					フープを使った基本動作を確認する。 ・ 30分			講義内容をノートにまとめる。 ・ 30分			

7	フープ遊び③簡単なルールを用いたフープゲームを（カラーバスケット・陣取りなど）を体験し、指導法を学習する。	フープゲームについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	縄跳び遊び①縄を使った遊びの効果や特徴などを実践を通して理解し、指導法を学習する。	縄を使った遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	縄跳び遊び②長縄を使った遊びを体験し、指導法を学習する。	長縄を使った遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	縄跳び遊び③長縄と短縄を使った遊びを体験し、指導法を学習する。	長縄と短縄を使った遊びを考える。 縄を使った遊びの動きを確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	障害走①子どもの年齢に適した障害走の内容を学習する。	年齢に応じた運動遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	障害走②子どもの年齢に適した障害走の内容を学習する。	障害走①の動きを確認する。 年齢に応じた運動遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	自然と地形を活かした遊び（雪を利用した遊びを体験する。） ※天候不良の場合は理論で行う	自然と地形を活かした遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。	運動遊び（1）の身体表現に関する内容を復習しておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの学習を振り返る。	講義全体を通しての疑問などをまとめておく。 ・30分	講義全体を振り返り、ノートの内容を整理する。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K21132		ピアノ基礎(1)				1	15	演習	30	前期	1年	工藤里砂子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験		
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								○		
	○	○	○	○											
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○		
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○		
		②子どもの心身の特性を知っている													
		③子どもにとって望ましい環境を理解している													
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○		
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる													
授業概要		初心者とは毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし練習することで、指使いや打鍵等の技術を身に付ける。また曲の構成についても学ぶ。既習者には個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。													
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。初心者はそのために必要なピアノ演奏に関する基本的な知識や技術を習得する。既習者はより深い表現に必要な高度な演奏技術を身に付ける。													
単位認定の方法		期末試験	50 %				授業内小テスト	%				授業内活動	40 %		計 100 %
		期末レポート	%				授業内提出物	10 %				その他	%		
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題を指摘・指導する。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録ノート」を提出してもらい、確認、返却する。													
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社													
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配布する													
履修上の注意等		・授業で学んだ曲は確実に弾けるように、毎日の練習を怠らない ・「レッスン記録ノート」を用意し、練習した曲及び学びや気づきについて記録し、担当教員の印を受ける。 ・各自ファイルを用意し、配布楽譜などを保管する。													
回	授 業 計 画							授業時間外学習							
								授業前・時間			授業後・時間				
1	授業ガイダンス ピアノ演奏のための指番号について（教科書p.5)							入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			指番号を覚え、鍵盤上あるいは机上で動かしてみる・30分				
2	五線譜の読み方とピアノの鍵盤の位置 右手・左手・両手の練習①							入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			五線譜の読み方を復習し、毎日ピアノを練習することで楽譜と鍵盤の位置を完全に結びつけるようにする・30分				
3	右手・左手・両手の練習②							レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			五線譜の読み方を復習し、毎日ピアノを練習することで楽譜と鍵盤の位置を完全に結びつけるようにする・30分				
4	ハ長調のⅠ・Ⅴによる和音伴奏①（教科書p.4～6)							レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				
5	ハ長調のⅠ・Ⅴによる和音伴奏②（教科書p.7～9)							レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、3拍子の感覚を身に付ける・30分				
6	ハ長調のⅠ・Ⅴによる和音伴奏③（教科書p.10～11)							レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				

7	応用曲「かつこう」「どんぐりさんのおうち」「ちょうちょう」(教科書p.9・12)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
8	ハ長調のⅠ・Ⅴ・Ⅴ7による伴奏型①(教科書p.14～15)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しい和音は確実に覚える・30分
9	ハ長調のⅠ・Ⅴ・Ⅴ7による伴奏型②(教科書p.18～19)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しい伴奏型は確実に覚える・30分
10	ハ長調のⅠ・Ⅴ・Ⅴ7による伴奏型③(教科書p.20～21)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
11	右手の八分音符(教科書p.22～23)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
12	左手の八分音符(教科書p.24)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、右手の八分音符も引き続き練習する・30分
13	両手の八分音符(教科書p.25)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	ト長調の音階とⅠ・Ⅴ・Ⅴ7による和音伴奏(教科書p.26～27)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ト長調について理解する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		ピアノ基礎(2)			1	15	演習	30	後期	1年	工藤里砂子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○	
	○	○	○	○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○	
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、指使いや打鍵等の技術を身に付ける。また曲の構成についても学ぶ。											
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。初心者はそのために必要なピアノ演奏に関する基本的な知識や技術を習得する。既習者はより深い表現に必要な高度な演奏技術を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験			50 %		授業内小テスト		%		授業内活動		40 %
		期末レポート			%		授業内提出物		10 %		その他		%
フィードバックの方法		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。初心者はそのために必要なピアノ演奏に関する基本的な知識や技術を習得する。既習者はより深い表現に必要な高度な演奏技術を身に付ける。											
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社											
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配付する											
履修上の注意等		・授業で学んだ曲は確実に弾けるように、毎日の練習を怠らない ・「レッスン記録ノート」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける。 ・各自ファイルを用意し、配付楽譜などを保管する。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	ト長調のⅠ・Ⅴ・Ⅶによる伴奏型①（教科書p. 28, 29）						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ト長調の基礎知識を覚える・30分			
2	ト長調のⅠ・Ⅴ・Ⅶによる伴奏型②（教科書p. 30, 31）						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ト長調の基礎知識を覚える・30分			
3	ヘ長調の音階とⅠ・Ⅴ・Ⅶによる和音伴奏						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ヘ長調の基礎知識を覚える・30分			
4	ヘ長調の音階とⅠ・Ⅴ・Ⅶによる伴奏型						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ヘ長調の基礎知識を覚える・30分			
5	ヘ長調の音階とⅠ・Ⅴ・Ⅶによる伴奏型						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ヘ長調の基礎知識を覚える・30分			
6	付点四分音符と八分音符のリズム（教科書p. 40, 41）						レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分			

7	いろいろな指使い① 指ひろげ（教科書p. 48, 49）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
8	いろいろな指使い② 八度の跳躍と左手の指ひろげ（教科書p. 52）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
9	いろいろな指使い③ 指またぎと指くぐり：ハ長調のスケール（教科書p. 56）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ハ長調の音階を確実に弾けるようにする・30分
10	いろいろな指使い③ 指またぎと指くぐり：ト長調のスケール（教科書p. 57）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ト長調の音階を確実に弾けるようにする・30分
11	いろいろな指使い③ 指またぎと指くぐり：ヘ長調のスケール（教科書p. 58）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、ヘ長調の音階を確実に弾けるようにする・30分
12	三連符（教科書p. 60～62）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分
13	十六分音符（教科書p. 64, 65）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分
14	臨時記号（教科書p. 68～70）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、臨時記号について理解する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21011		保育原理(1)		2	15	講義	30	前期	1年	島内智秋		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		保育士として基礎的知識を理解し、実践へつなげる力を養う。保育の基本である「保育の意義・目標・内容」「保育の原理」「子どもの遊びの意義」「子どもの発達特性」「保育所の健康・安全上の留意事項」などについての学び、理解して身につけていく。										
授業の到達目標		保育の本質や保育の原理、子どもの発達過程に適した保育や環境について理解する。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		講義終了後、振り返りシートに質問や疑問を記入し提出させ、次の時間に解説し「わからない」を解決する。										
教科書・教材		『なぜからはじめる保育原理』池田隆英・上田敏文ほか編著 建帛社 『保育所保育指針解説書』厚生労働省（平成30年改訂版）										
参考書・参考文献等		『保育原理』民秋言・河野利津子 北大路書房 『保育原理』天野珠路・北野幸子 中央出版										
履修上の注意等		実践につなげるようイメージし、発言したり質問したりして積極的な態度で臨んでほしい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 保育の理念と概念					子どもの最善の利益とは何か考えてくる（30分以上）			復習（30分以上）			
2	保育の基本 保育対象としての子ども ーなぜ子どもを保育するのかー					子ども観について考えてくる（30分以上）			復習（30分以上）			
3	福祉としての保育 ーなぜ保育所が必要なのかー					なぜ保育所が必要か考えてくる（30分以上）			復習（30分以上）			
4	保育所保育指針の考え方ーなぜ保育所は教科書を用いないのか 幼児の発達の特徴と保育① 2歳児について					なぜ保育所は教科書を用いないのか考える（30分以上）			復習（30分以上）			
5	発達過程に応じた保育ーなぜ子どもの発達理解は大切なのか 幼児の発達の特徴と保育② 3歳児について					なぜ子どもの発達を学ぶのか考える（30分以上）			復習（30分以上）			
6	保育方針と指導計画 幼児の発達の特徴と保育③ 4歳児について					保育実践の成り立ちを考える（30分以上）			復習（30分以上）			

7	保育のねらいと内容・遊びの充実と保育士の援助 幼児の発達の特徴と保育④ 5歳児について	子どもの遊びと保育者の援助を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
8	遊びと環境構成・保育における指導の総合性 幼児の発達の特徴と保育⑤ 6歳児について	なぜ保育所に遊具があるのか考える (30分以上)	復習 (30分以上)
9	子ども観・保育観とともに成長する保育士・遊びにおける個と集団 への配慮	保育者の記録と保育者の成長を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
10	保育におけるPDCAサイクルとは何か 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて①	保育のPDCAサイクルを考える (30分以上)	復習 (30分以上)
11	保育の形態と保育士の役割 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて② 保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育⑥6か月未満児について	保育形態による保育士の役割を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
12	保育内容と方法 乳幼児の発達の特徴と保育⑦ 6か月から1歳3か月未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて③	この時期の子どもの発達を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
13	保育内容と方法 乳幼児の発達の特徴と保育⑧ 1歳3か月から2歳未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて④	この時期の子どもの発達を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
14	現在の保育を取り巻く状況について気になった記事から考える (グループで深めていく) 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて⑤	気になった保育の記事等を持ってくる (30分以上)	復習 (30分以上)
15	現在の保育をとりまく状況について (保育所・幼稚園・認定こども園・新制度について)	保育をとりまく状況について考える (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21011		社会的養護(1)		2	15	講義	30	後期	1年	佐藤優輝		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		社会的養護の分野は里親委託の推進や施設の小規模化、地域分散化が急がれるなど変化が著しい。また児童虐待の問題や要保護家庭への支援など幅広い知識が求められる。テキストに沿いながら実践の様子も交え、講義形式で社会的養護の全体像について理解を深める。										
授業の到達目標		社会的養護の役割を理解する。 支援者としての視点を身につける。 社会的養護の現状や課題を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	10	%		計 100 %
		期末レポート	40 %		授業内提出物	%		その他	50	%		
フィードバックの方法		提出課題について口頭で解説するとともに、必要に応じて参考文献等を示す。 レポートは評価の基準を口頭で解説する。										
教科書・教材		新・社会的養護の原理(社会的養護Ⅰ) 櫻井奈津子 青踏社										
参考書・参考文献等												
履修上の注意等		社会的養護で学ぶ子どもを捉える視点は、すべての子どもをとらえる視点につながる。 講義形式ではあるが、学生との双方向的なやりとりの機会を多くしたいと考えているので、積極的に 発言・質問し社会的養護についての理解を深めてほしい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	社会的養護とは											
2	子どもの権利について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
3	社会的養護での権利擁護					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
4	社会的養護の歴史について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
5	家庭養護と地域分散化について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
6	施設養護と小規模化について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						

7	支援者の資質と専門性について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
8	支援者の資質と専門性について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
9	支援者の倫理観と自己覚知について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
10	チームアプローチについて	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	つ理
11	スーパービジョンについて	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	つ理
12	パーマネンシーの重要性について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	つ理
13	地域との連携について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	つ理
14	施設運営管理について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	つ理
15	これからの社会的養護について		

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21011		社会福祉		2	15	講義	30	前期	1年	若林一哉		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育士として必要となる社会福祉の基礎的理解を目的に、社会福祉の理念・歴史・制度の仕組みを学ぶ。児童福祉を中心に、障害福祉、高齢者福祉、地域福祉の動向を概観し、現代社会における生活課題と支援の在り方について考察する。また、相談援助や多職種連携の視点を取り入れ、子どもと家庭を包括的に支える専門職としての役割と倫理観を養うことを目指す。理論と実践を結び付けながら理解を深める。										
授業の到達目標		1 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 2 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 3 社会福祉における相談援助について理解する。 4 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	20	%		
		期末レポート	60 %		授業内提出物	20 %		その他		%		
フィードバックの方法		授業内活動および提出物に対するフィードバックは、講義内において全体講評および解説の形で実施する。										
教科書・教材		教科書は使用せず、授業担当者が作成・配布する資料を主教材として用いる。										
参考書・参考文献等		『社会福祉』ミネルヴァ書房 / 『保育と社会福祉』みらい / 『福祉小六法』中央法規出版										
履修上の注意等		本講義はMicrosoft Teamsを活用して実施する。「社会福祉」クラスに講義資料を事前掲載するため、各自PCを持参、または事前に資料をダウンロードのうえ受講すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	社会福祉制度の成立背景と存在意義 ― 社会福祉の目的と現代社会における役割を理解する					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義内容をふり振り返り、私たちの生活と「社会福祉」について要約し、自分の考えをまとめる。(60分)			
2	現代社会における多様な生活課題と社会福祉 ― 貧困、孤立、少子化、家族形態の変化などの社会問題					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
3	社会福祉の歴史的変遷と福祉思想の展開 ― 社会福祉の起源から現代社会福祉への歴史的発展					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
4	人権の概念と現代社会福祉を支える基本理念 ― 尊厳・自立支援・ノーマライゼーション等					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
5	社会福祉の法体系と制度の概要 ― 社会保障制度と関連法の基本構造					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
6	社会福祉施設の機能と社会福祉専門職の役割 ― 保育士・社会福祉士等の専門性と多職種連携					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)			講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			

7	ソーシャルワークの理論・意義と機能 — 相談援助の基本的枠組み	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
8	ソーシャルワークの対象理解と援助過程・方法・技術 — アセスメント、支援計画、評価の基礎	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
9	社会福祉サービスの利用支援と第三者評価 — 利用者主体と権利擁護、サービスの質の保証	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
10	生活保護制度の仕組みと現代的課題 — 最低生活保障と自立支援、子どもの貧困との関連	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
11	児童の人権擁護と社会福祉 — 児童虐待防止、子どもの最善の利益	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
12	児童家庭福祉の制度と支援の実際 — 子育て支援、家庭支援、地域との連携	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
13	現代社会における高齢者保健福祉の現状と課題 — 高齢化社会と地域包括ケア	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
14	現代社会における障害者福祉と共生社会 — 障害者権利条約、インクルージョンの理念	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
15	地域福祉の意義と推進方法／社会福祉の課題とこれから — 地域共生社会と保育者に求められる福祉的視点（総括）	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21031		乳児保育(1)		2	15	講義	30	前期	1年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		乳児期は人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。共働き家庭の増加や核家族等乳児を取り巻く社会状況を理解し、現代社会における乳児保育の意義、目的と役割や課題を知る。 3歳未満児の発育・発達を踏まえ、日常生活を理解するための知識を学び、乳児が安心感を抱いて安全に過ごすことができる保育環境や関わりについて学ぶ。										
授業の到達目標		①乳児保育の意義、目的と歴史の変遷及び役割等を知る。 ②保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③3歳児未満の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	10 %					
フィードバックの方法		提出プリント及び課題等に評価を書いて返却し、その後の授業内で取上げ全体に向けフィードバックする。										
教科書・教材		「乳児保育演習ブック」〔第2版〕松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房										
参考書・参考文献等		「保育所保育指針解説」 厚生労働省編 フレーベル館 「マザリーズの理論と実践」内山伊知郎 監修 北大路書房										
履修上の注意等		幼児期の教育に関連付けながら、乳児期の基礎知識を身に付けるように取り組む										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	乳児保育とは何か 乳児保育の意義・目的と役割					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
2	「保育所保育指針」における乳児保育の理念と概念					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
3	乳児保育の歴史					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
4	乳児保育の基礎知識（1） 0～3歳児の発達の特徴と発達過程について					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
5	乳児保育の基礎知識（2） 乳児保育に関わるねらい及び内容					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
6	乳児保育の基礎知識（3） 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			

7	乳児保育の基礎知識（４） 保育の実施に関わる配慮事項	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
8	乳児保育の基礎知識（５） 特別な配慮が必要な子どもへの支援	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
9	保育所・認定こども園における乳児保育（１） 「保育所とは」 「認定こども園とは」	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
10	保育所・認定こども園における乳児保育（２） 「保育所の生活活動」 「幼保連携型認定こども園における生活活動」	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
11	乳児院における乳児保育	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
12	家庭的保育等における乳児保育 乳児保育が行われるその他の保育	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
13	子育て支援における乳児保育	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
14	保護者とのパートナーシップ 発達の遅れと向き合う保護者との連携	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
15	職員間・地域の関係機関との連携 乳児保育の現状と課題	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21032		子どもと音楽(1)		1	15	演習	30	前期	1年	工藤里砂子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		子どもの音楽活動を展開するために、保育者に必要な基礎的知識・技能を習得し、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。										
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。保育現場で必要な手遊び歌などを習得したり、日常的または季節ごとに歌われる歌を通して、子どもの感性や創造的表現を育むための、理解や支援に必要な基礎的知識・技能を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	20 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		提出物や小テストを採点、コメントを記入し返却する										
教科書・教材		「幼児のための音楽教育」教育芸術社 「歌唱教材伴奏法」教育芸術社										
参考書・参考文献等		適宜資料を配布する										
履修上の注意等		・授業で学んだ知識や技術は、繰り返し練習し確実に身に付ける ・各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 乳幼児の音楽表現活動について ワークショップによるコミュニケーション					入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			教科書や配布資料を再読し、乳幼児の音楽表現活動について復習する・30分			
2	音楽理論①：音符と休符、拍子記号					入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			授業で学んだことを復習し、確実に覚える・30分			
3	音楽理論②：タイとスラー、付点のリズム					「歌唱教材伴奏法」p. 8とp. 40を読んでおく・30分			授業で学んだことを復習し、確実に覚える・30分			
4	音楽理論③：強弱記号、速度記号、反復記号、スタッカート等その他の奏法					「歌唱教材伴奏法」p. 8とp. 40を読んでおく・30分			授業で学んだことを復習し、確実に覚える・30分			
5	手遊び歌①：「あたま・かた・ひざ・ぼん」「やきいもグーチャーパー」「むすんでひらいて」他					手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			授業で学んだ手遊び歌を繰り返し練習し、確実に覚える・30分			
6	手遊び歌②：「グーチョキパーでなにつくろう」「アルプス一万尺」他					手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			授業で学んだ手遊び歌を繰り返し練習し、確実に覚える・30分			

7	手遊び歌③：「キャベツの中から」「はじまるよ」他 わらべ歌：「げんこつやまのたぬきさん」「ちゃつぽ」他 お絵描きうた：「たこにゅうどう」「さかなになっちゃった」他	手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	授業で学んだ手遊び歌とお絵描き歌を繰り返し練習し、確実に覚える・30分
8	両手奏：「ちょうちょ」「チューリップ」「きらきら星」「ブンブン（ハ長調）」 （配布プリント譜による）	「ちょうちょ」「チューリップ」「きらきら星」のメロディーを歌い暗譜する・30分	両手で演奏できるように、復習練習する・30分
9	メロディー奏：「おかたづけ(p.38)」 両手奏：「おててをあらいましょう(p.38)」 付点八分音符と十六分音符のリズムについて	「おかたづけ」「おててをあらいましょう」「ブンブン」のメロディーを歌い暗譜する・30分	付点のリズムに注意し、メロディー奏または両手で演奏できるように、復習練習する・30分
10	両手奏：「ロンドン橋(p.117)」「かえるのがつしょう(p.70)」「むすんでひらいて(p.52)」	「ロンドン橋」「カエルのがつしょう」「むすんでひらいて」のメロディーを歌い暗譜する・30分	両手で演奏できるように、復習練習する・30分
11	歌唱：呼吸法と発声法 合唱	腹式呼吸について、資料やインターネット等で調べる・30分	授業で学んだ呼吸法と発声法を繰り返し行う・30分
12	両手奏：「大きなくりの木の下で(p.92)」「手をたたきましょう(p.71)」 メロディー奏：「メリーさんのひつじ(p.68)」	「大きなくりの木の下で」「手をたたきましょう」「メリーさんのひつじ」のメロディーを歌い暗譜する・30分	メロディー奏または両手で演奏できるように、復習練習する・30分
13	これまで学んだ曲によるピアノ発表会	これまで学んだ両手奏から2曲選択し、発表会に向けて練習する・30分	発表会で上手く弾けなかった曲、または他の曲を復習練習する・30分
14	両手奏：「あくしゅでこんにちは(p.47)」 左手伴奏：「メリーさんのひつじ(p.68)」 まとめと振り返り（小テストによる）	「あくしゅでこんにちは」のメロディーを歌い暗譜し、小テストに向けて授業で学んだ内容を復習する・30分	両手で演奏できるように、復習練習する・30分
15	小テストの返却と解説 両手奏：「おかたづけ(p.38)」「メリーさんのひつじ(p.68)」	「おかたづけ」「メリーさんのひつじ」の片手奏を練習する・30分	小テストで不正解だった問題を復習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21032		子どもと音楽(2)		1	15	演習	30	後期	1年	工藤里砂子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		子どもの音楽活動を展開するために、保育者に必要な基礎的知識・技能を習得し、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。										
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。保育現場で必要な季節の歌や打楽器の扱い方などを習得したり、音遊びを通して、子どもの感性やイメージする力、音楽への興味関心を育むための、理解や支援に必要な基礎的知識・技能を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	50 %		授業内小テスト	20 %		授業内活動	20 %		計 100 %	
		期末レポート	%		授業内提出物	10 %		その他	%			
フィードバックの方法		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。保育現場で必要な季節の歌や打楽器の扱い方などを習得したり、音遊びを通して、子どもの感性やイメージする力、音楽への興味関心を育むための、理解や支援に必要な基礎的知識・技能を習得する。										
教科書・教材		「幼児のための音楽教育」教育芸術社										
参考書・参考文献等		適宜資料を配布する										
履修上の注意等		・授業で学んだ知識や技術は、繰り返し練習し確実に身に付ける ・各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション メロディー奏：「朝のうた(p.36)」「とんぼのめがね(p.75)」					「朝のうた」「とんぼのめがね」の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分			
2	両手奏：「朝のうた(p.36)」「とんぼのめがね(p.75)」					左手の伴奏パートを、予習練習する・30分			両手で演奏できるように、復習練習する・30分			
3	メロディー奏：「おかえりのうた(p.39)」「さよならのうた(p.40-41)」					「おかえりのうた」「さよならのうた」の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分			
4	両手奏：「おかえりのうた(p.39)」「さよならのうた(p.40-41)」					左手の伴奏パートを、予習練習する・30分			両手で演奏できるように、復習練習する・30分			
5	リトミック：リトミックについて教科書や配布資料などで理解し、乳幼児に適したリトミックを体験する					教科書p.22～23「エミール・ジャック＝ダルクローズ」を読む・30分			リトミックの概要と、授業で取り扱った曲と動きを復習する・30分			
6	メロディー奏：「おつかいありさん(p.61)」「やきいもグーチーパー(p.86)」					「おつかいありさん」「やきいもグーチーパー」の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分			

7	両手奏：「おつかいありさん(p.61)」「やきいもグーチャーパー(p.86)」	左手の伴奏パートを、予習練習する・30分	両手で演奏できるように、復習練習する・30分
8	メロディー奏：「おべんとう(p.48)」「かたつむり(p.51)」「山の音楽家(p.55)」	「おべんとう」「かたつむり」「雪」の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
9	両手奏：「おべんとう(p.48)」「かたつむり(p.51)」「山の音楽家(p.55)」	左手の伴奏パートを、予習練習する・30分	両手で演奏できるように、復習練習する・30分
10	打楽器遊び①：教科書や配布資料などで打楽器の扱い方、鳴らし方を確認しそれぞれ鳴らす（タンブリン、鈴、カスタネット、トライアングル）	教科書p.18～22「乳幼児と楽器」を読む・30分	打楽器の扱い方や留意点、対象年齢などについて復習する・30分
11	打楽器遊び②：打楽器を用いての様々な遊び	打楽器の扱い方や留意点を確認する・30分	打楽器を用いた遊びを復習し、他の遊び方についても考える・30分
12	幼児の打楽器遊びや合奏の様子を動画で見る メロディー奏：「めだかの学校(p.34)」「こいのぼり(p.43)」「たなばたさま(p.59)」「シャボン玉(p.62)」「おぼけなんてないさ(p.63)」	授業で学ぶ曲の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
13	メロディー奏：「アイアイ(p.69)」「とんでったバナナ(p.77)」「Happy Birthday To You(p.79)」「ありさんのおはなし(p.83)」「タヤけこやけ(p.84)」「バスごっこ(p.85)」「おもちゃのチャチャチャ(p.87)」「どんぐりころころ(p.91)」	授業で学ぶ曲の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
14	メロディー奏：「まつぼっくり(p.94)」「ジングルベル(p.99)」「森のくまさん(p.100)」「雪(p.101)」 まとめと振り返り（小テストによる）	授業で学ぶ曲の歌詞をよく読み暗譜する。 小テストに向けて打楽器遊びとリトミックについて復習する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
15	小テスト返却と解説 メロディー奏：「幸せなら手をたたこう(p.102)」「お正月(p.107)」「ぞうさん(p.110)」「豆まき(p.115)」「うれしいひな祭り(p.123)」	授業で学ぶ曲の歌詞をよく読み暗譜する・30分	小テストで不正解だった問題を復習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22052		情報技術(1)		1	15	演習	30	前期	1年	米塚清子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園 教諭	ベビー シッター	編入							
	○		○									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目 に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		情報を適切に表現・発信するための知識を養い、情報機器(コンピュータおよび周辺機器)の操作およびアプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報伝達などの技術を学ぶ。 ソフトウェアの操作内容は、日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定1級・文書デザイン検定2級相当の知識・技術の習得を想定している。										
授業の到達目標		情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術を習得する。 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。 インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	30 %	授業内活動	%	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		提出課題(授業で演習する練習問題)について添削、解説をする。										
教科書・教材		使用しない(授業内容に応じて適宜プリントを配付する)										
参考書・参考文献等		必要に応じて紹介する。										
履修上の注意等		授業には、ノートブックパソコンを持参することが望ましい。 授業計画は、進捗状況を見ながら変更することがある。 目的意識を持って授業に臨み、特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	○講義概要・コンピュータ実習室利用の留意事項を説明 ○習熟度アンケートの実施					事前にシラバスを読み、本科目の概要を理解しておくこと。			配付プリントの内容を整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(60分以上)			
2	○ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能(ページの設定・書式設定・印刷など)について ○ビジネス文書の基本構成について					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
3	提課題作成1 近況報告を題材として、Wordによるページ設定・書式設定・印刷に取り組む					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
4	○ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能(表の作成・結合・分割・罫線修飾など)について①					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
5	○ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能(表の作成・結合・分割・罫線修飾など)について②					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
6	○オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図等の作成(1)					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			

7	○オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図等の作成(2)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
8	○オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図等の作成(3)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
9	○タイピングテスト ○画像を扱うための基礎知識の理解、画像編集ソフトウェアの基本操作について 課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
10	課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
11	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する①(企画)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
12	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する②(公文書製作)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
13	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する③(告知媒体製作)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
14	課題作成4 AIを使用しての画像作成	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	これまでに配付されたプリントを総合的に参照し、授業で演習した技術を応用できるようにしておく。(60分以上)
15	○習得した知識・技術を活用した文書作成技能テスト (文書デザイン検定2級程度の内容)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	自己採点してみて、できなかった箇所があれば、再度確認し、改善点を確認する。(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22052		情報技術(2)		1	15	演習	30	後期	1年	米塚清子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○		○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
		情報を適切に表現・発信するための知識を養い、情報機器(コンピュータおよび周辺機器)の操作およびアプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報伝達などの技術を学ぶ。 ソフトウェアの操作内容は、日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定1級・文書デザイン検定2級相当及びペンタブレットによるペイント描画の知識・技術の習得を想定している。										
授業の到達目標		情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術を習得する。 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。 インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	30 %	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		提出課題(授業で演習する練習問題)について添削、返却をする。										
教科書・教材		使用しない(授業内容に応じて適宜プリントを配付する)。										
参考書・参考文献等		必要に応じて紹介する。										
履修上の注意等		目的意識を持って授業に臨み、特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	演義概要・表計算「Excel」の画面等の基本確認 基本操作や用語の確認、セルへの入力練習などを行う					事前にシラバスを読み、本科目の概要を理解しておくこと。			配付プリントの内容を整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(60分以上)			
2	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表の作成に取り組む①					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
3	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表の作成に取り組む②					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
4	「カレンダー」を題材に、計算式、セル参照(相対・絶対・複合)、コピー・ペーストについて学習する					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
5	代表的な関数式の入力方法、小数点の丸め処理、ソート機能について学習する					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			
6	IF関数、論理関数(AND・OR・NOT)、ネスト関数(IF・論理関数)について学習する					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)			

7	課題作成6 これまで学習した機能を活用し、表計算3級程度の問題に取り組む	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
8	条件付き集計関数を学習し、練習問題に取り組む	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
9	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
10	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
11	グラフ(複合グラフ含む)作成・加工(絵の貼り付け)について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
12	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
13	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
14	「実習用指導案」を題材にし、入力規則設定、検索・フィルター機能、条・件付き書式設定、ウインドウ分割について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
15	授業の振り返りとまとめ ・未達成課題への指導・助言と後期実技チェックを行う	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	これまでに配付されたプリントを総合的に参照し、授業で演習した技術を応用できるようにしておく。(60分以上)

ナンバリング	科目名	単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22453	教育実習	4		実習	30	集中	1年	教職課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目							実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入				
	○		○						
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力								該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○
	②子どもの心身の特性を知っている								○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								○
授業概要		保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて幼稚園教諭としての職業を体験的に学習する。							
授業の到達目標		養成校で学んだ幼児教育に関する知識をもとに、幼稚園や幼保連携型認定こども園において保育を実践し、保育者としての使命と責任を自覚し、資質を高める。							
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	60	%	計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%	
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。							
教科書・教材		幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。							
参考書・参考文献等		「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引き」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編							
履修上の注意等		学外実習の規定を遵守し、実習の意義・目的・内容を十分に理解した上で、事前準備をしっかりと整え実習に臨むこと。また、教育実習事前事後指導と科目連動していることに注意する。							
回	授 業 計 画			授業時間外学習					
				授業前・時間		授業後・時間			
1									
2	【教育実習】4単位								
3	○実習期間：令和8年11月予定（5日間） ※2年次令和9年11月（10日間）実習予定								
4	○実習形態：①参加実習、②指導実習を中心に実施する。								
5	①参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加								
6	②指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践								
7	○実習内容								
8	1. 幼稚園教育の特性と役割								
9	(1) 幼児期の生活と遊び、幼児の発達の姿								
10	(2) 人格形成の基礎を培うこと								
11	(3) 環境を通して行う保育の理解								

7	2. 観察にもとづく幼児教育の理解
	(1) 子どもの心身の状態や活動の観察
8	(2) 教師の援助や関わり
	(3) 幼稚園の生活の流れや展開の把握
9	3. 家庭や地域社会との連携
	(1) 家庭との緊密な連携と子育て支援の理解
10	(2) 教師の職務や社会的使命についての理解
	(3) 職業倫理を具体的に学び理解を深める
11	4. 指導計画の作成・実践・省察・記録・評価
	(1) カリキュラムに基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
12	(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
13	5. 自己の課題の明確化
14	
15	※実習期間中に幼稚園教諭課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22452		教育実習事前事後指導		1		演習	30	後期	1年	島内智秋・高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○		○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		この授業は2年間かけて計8回実施される。 1年次は教育観察実習の前後4回だが、開講日時は追って連絡する。 2年次は教育実習の前後4回である。 充実した実習と深い学びを実現するための学習をおこなう。										○
授業の到達目標		現場に向かう姿勢を身につけ、実習を振り返ることの重要性を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	25 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	25 %	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		随時プリント等を用いる。										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		授業回数は4回だが、開講日時は追って連絡する。 出欠回数は2年間通して計算される。 単位認定は2年後期におこなう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	(事前指導) 実習の心得					左記に関することをネット検索等で調べる (30分以上)			授業内容を復習し、不明な点は質問する (30分以上)			
2	(事前指導) 実習録の書き方					左記に関することをネット検索等で調べる (30分以上)			授業内容を復習し、不明な点は質問する (30分以上)			
3	(事前指導) 指導案の書き方					左記に関することをネット検索等で調べる (30分以上)			授業内容を復習し、不明な点は質問する (30分以上)			
4	(事後指導) 実習体験報告会を開き、本実習に向けて2年生から助言を受ける					実習を通して印象に残っていることなどを整理する (30分以上)			振り返りを通して今後の課題をあげる (30分以上)			
5												
6												

7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22011		保育者論		2	15	講義	30	前期	1年	相馬玲子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		「保育者に勝る天職はなし」保育者としての経験を活かし、保育の魅力について紹介します。教科書に沿って講義を進めて参りますが、机上では学ぶ事の出来ない実践者ならではの視点から保育者の素晴らしさについてお伝えさせていただきます。保育者に求められるのは、オリジナリティです。短大での学びに足跡を残す為に世界に一冊のノートを制作して頂きます。見た事・聴いた事にプラスして、感じた事・考えた事を書き留めましょう。自分の思いを文章で表現できる力を身に付ける事も保育者には大切なスキルとなります。保育者論の講義を通し、保育者として身に付けて欲しいスキルがイメージ出来るようになり、到達目標である保育者像を確立できる様な授業となっています。										
授業の到達目標		保育者に求められる資質、役割、専門性について具体的に理解し、あるべき保育者の姿について述べる事が出来る様になり、保育者としての基礎的知識、専門性を学ぶ事で自らの「保育士像」を確立する。										
単位認定の方法		期末試験	0 %	授業内小テスト	0 %	授業内活動	20 %	計 100 %				
		期末レポート	40 %	授業内提出物	40 %	その他	0 %					
フィードバックの方法		レポートにはコメントを書き添えお返しします。										
教科書・教材		子どもと共に育ちあう エピソード保育者論 編者 井上孝之・山崎敦子 株式会社みらい										
参考書・参考文献等		毎回資料を配布します。										
履修上の注意等		携帯電話の使用・クラスメートの学ぶ権利を奪う私語は厳禁・提出物については期限厳守とします。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育の道によろこそ・・・大歓迎いたします					夢を語れるように、保育者としての自分をイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			
2	保育者になるという事					保育者の責任について考え、事前学習としてノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			
3	現代社会と保育者					保育現場における、変わりゆくものと変わらぬものをイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			
4	保育者になるには					制度的な位置づけ・保育者の責務について予習しノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			
5	保育者の専門性					子どもを人間としてみる事の大切さについて考えノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			
6	カリキュラム・マネジメントと評価					PDCAサイクルについて考えその必要性をノートにまとめてみる。(30分以上)			授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)			

7	保育者の仕事	子どもへの関りで大切なことをイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
8	一人一人のニーズに応じた援助	特別な配慮が必要な子への関りをイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
9	環境構成は保育感のあらわれ No1	子どもと過ごす環境を構成する上で必要と思われることをノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
10	環境構成は保育感のあらわれ No2	出来るだけ沢山の絵本と出逢い、作品への思いをノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
11	保育の質を向上させるためのチェックシート	遊びのなかの学びについて考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
12	保育者の専門職的成長	保育者の専門性について考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
13	保育者の協同と連携	保育者である前に一人の人間として求められるものは何かを考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
14	日本の保育と世界の保育	豊かな保育実践のために何ができるかを考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
15	目指す保育者像	成りたい保育者・目指したい保育者の姿・自分の到達目標をノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22031		保育の計画と評価		2	15	講義	30	後期	1年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業の到達目標		指導計画についての基本や実際の保育における計画、実践、記録、省察・評価、改善の過程の大切さを学び、全体的な計画・教育課程と指導計画の作成について具体的に理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計 100 %	
		期末レポート	60 %		授業内提出物	40 %		その他	%			
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。										
教科書・教材		「保育の計画と評価 演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房										
参考書・参考文献等		「教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画」岩崎淳子・及川留美・粕谷亘正著 萌文書林										
履修上の注意等		自分でも様々な指導計画を調べ、多方向から保育における計画の意味を考えていけるようにすることが望ましい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育の計画と評価の基本① 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」とは					シラバスに目を通す教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			
2	保育の計画と評価の基本② 「カリキュラム」「教育課程」とは 「PDCAサイクル」とは					教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			
3	保育の計画と評価の基本③ 「全体的な計画」とは					教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			
4	保育の計画 0・1・2歳児の長期的・短期的な指導計画の作成 0・1・2歳児の指導計画作成上の留意事項					教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			
5	保育の計画 3歳児の長期的・短期的な指導計画の作成					教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			
6	保育の計画 3歳児の指導計画作成上の留意点					教科書を読んでくる 30分以上			教科書での振り返り 30分以上			

7	保育の計画 4歳児の長期的・短期的な指導計画の作成	教科書を読んでくる 30分以上	教科書での振り返り	30分以上
8	保育の計画 4歳児の指導計画作成上の留意点 5歳児の指導計画作成上の留意点	教育観察実習園での子どもの姿を記入する 30分以上	課題の取り組み	30分以上
9	指導案の具体的な書き方について 「子どもの姿」「ねらい」「内容」	子どもの姿・ねらい・内容について調べる 30分以上	課題の取り組み	30分以上
10	指導案の具体的な書き方について 「時間」「準備・環境構成」	時間・準備・環境構成について調べる 30分以上	課題の取り組み	30分以上
11	指導案の具体的な書き方について 「保育者の援助・配慮」	保育者の援助・配慮について調べる 30分以上	課題の取り組み	30分以上
12	部分案の作成・留意事項 ①部分案の作成（登園時からクラス活動）	好きな遊びの時間・クラス活動時のねらいや案を考える 30分以上	課題の取り組み	30分以上
13	部分案の作成・留意事項 ②部分案の作成（給食時から降園時間）	給食時間・降園時間・降園時間に行う活動に対するねらいや案を考える 30分以上	教科書での振り返り	30分以上
14	異年齢の指導計画作成上の留意点 指導計画に基づく保育の柔軟な展開 保育の記録と省察 保育の評価と改善 指導要録とは	教科書を読んでくる 30分以上	教科書での振り返り	30分以上
15	全日指導案の作成・留意事項 一日の流れを捉え、子どもの姿から日案指導案を作成する	日案指導案作成のために必要な遊び、活動、給食時間、降園時間のねらいや内容を考える 30分以上	課題の取り組み	30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22032		乳児保育(2)		1	15	演習	30	後期	1年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		乳児保育Ⅰで学んだ発育・発達は家庭や地域社会と密接な関係にあることを踏まえ、広く社会にも目を向け、子どもや家庭を支援するための必要な援助等を把握する。指導計画の立案について考え、保育や配慮の実践について具体的に理解する。										
授業の到達目標		①3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ②養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児の生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ③乳児保育における配慮の実践・計画の作成について、具体的に理解する。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %			計	100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		提出プリント及び課題等は評価を書いて返却し、その後の授業内で取上げ全体に向けフィードバックする。										
教科書・教材		「乳児保育演習ブック」〔第2版〕 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房										
参考書・参考文献等		「保育所保育指針解説」厚生労働省編 フレーベル館 「マザリーズの理論と実践」 内山伊知郎 監修 北大路書房										
履修上の注意等		毎回テキスト、配布プリントを持参する。演習時は動きやすい服装で行う。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	6か月未満の子どもの育ちと保育内容①					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
2	6か月未満の子どもの育ちと保育内容②					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
3	6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容①					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
4	6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容②					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
5	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容①					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容②					学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)			教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)			

7	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容①②	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
8	乳児保育における指導計画①	指導計画案について調べる。 (30分以上)	教科書での振り返り・課題の取り組み (30分以上)
9	乳児保育における指導計画②	指導計画案を考える。 (30分以上)	教科書での振り返り・課題への取り組み (30分以上)
10	乳児保育における指導計画③	指導計画案に取り組む。 (30分以上)	教科書での振り返り・課題への取り組み (30分以上)
11	乳児保育における指導計画④	指導計画案に取り組む。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
12	観察・記録及び自己評価について	学習範囲について教科書を読んで予習・重要語句をノートに記入する。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)
13	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境①	学習範囲について教科書を読む（製作に必要な材料を準備）。 (30分以上)	教科書での振り返り（課題取り組み） (30分以上)
14	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境②	学習範囲について教科書を読む（製作に必要な材料を準備）。 (30分以上)	教科書での振り返り（課題取り組み） (30分以上)
15	集団での生活における配慮 環境の変化や移行に対する配慮	学習範囲について教科書を読んで予習。 (30分以上)	教科書での振り返り・おさらいテストで復習（課題への取り組み） (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22043		保育実習(1)		4	-	実習		集中	1年	保育士課程委員会		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。										
授業の到達目標		授業で学んだ知識や技術を基礎とし、観察・参加実習を通して①保育所の役割と機能②観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解③子どもの保育及び保護者への支援④保育の計画、観察、記録及び自己評価⑤保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	60	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%				
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。また、実習録の評価を行い返却する。										
教科書・教材		必要に応じて「保育所保育指針解説」を確認すること。										
参考書・参考文献等		「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編										
履修上の注意等		「学外実習について」の条件を守り、実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかり整えて実習に臨むこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	【保育所実習】											
2	○実習期間：令和8年9月8日～9月15日（7日間）											
3	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。											
3	○実習形態：①観察実習②参加実習を中心に実施する。											
4	①観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握											
4	②参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加											
5	○実習内容											
6	1. 保育所の役割と機能											
	(1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり											
	(2) 保育所保育指針に基づく保育の展開											

7	2. 子ども理解
	(1) 子どもの観察とその記録による理解
8	(2) 子どもの発達過程の理解
	(3) 子どもへの援助や関わり
9	3. 保育内容・保育環境
	(1) 保育の計画に基づく保育内容
10	(2) 子どもの発達過程に応じた保育内容
	(3) 子どもの生活や遊びと保育環境
11	(4) 子どもの健康と安全
	4. 保育の計画・観察・記録
12	(1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解
	(2) 記録に基づく省察・自己評価
13	5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
	(1) 保育士の業務内容
14	(2) 職員間の役割分担や連携・協働
	(3) 保育士の役割と職業倫理
15	※実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22043		保育実習(1)		4	-	実習		集中	1年	保育士課程委員会
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					
	○	○		○						○
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力								
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								
		②子どもの心身の特性を知っている								
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								
授業概要		施設の現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。								
授業の到達目標		児童福祉法施行規則に基づく「保育実習実施基準」により福祉施設の役割を実地に学び、そこに生活する子ども(利用者)や職員との直接的なかかわりを通して、将来の保育士としての資質向上を図る。 1. 子ども(利用者)の生活や実際を知り、養護内容・生活環境についての理解を深める。 2. 職員の職種や役割、職場の組織、勤務形態を知り、職員間の連携の重要性を理解する。 3. 各施設の目的や機能を理解する。								
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	60	%	計 100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%		
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。また、実習録の評価を行い返却する。								
教科書・教材		必要に応じて「保育所保育指針解説」を確認すること。								
参考書・参考文献等		「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編								
履修上の注意等		「学外実習について」の条件を守り、実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかり整えて実習に臨むこと。								
回	授 業 計 画					授業時間外学習				
						授業前・時間		授業後・時間		
1	【施設実習】									
2	○実習期間：1班[令和9年2月8日～2月18日]・2班[令和9年2月19～3/1]（10日間）予定									
	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を総合的に勘案する									
3	○実習形態：①観察実習②参加実習を中心に実施する									
	①観察実習 子ども(利用者)の保育の基礎的、全般的な状況の把握									
4	②参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加									
5	○実習内容									
	1. 施設の概要などに関するオリエンテーション									
6	・施設の一日の流れを把握し生活の体験を通して、施設種別ごとの社会的な役割とその機能について理解する									

7	2. 子ども(利用者)理解について
8	・施設種別ごとにどのような子ども(利用者)が利用しているのか、観察や記録から理解する
9	・一人一人の状況に応じた援助や関わりについて具体的に学ぶ
10	3. 環境整備や一般用務について
11	・子ども(利用者)の心身の状態に応じた対応や活動を行うために、計画に基づいた生活環境の整備を体験的に学ぶ
12	・子ども(利用者)の育ちや体調を支える健康管理や安全対策について理解する
13	4. 保育の計画・観察・記録
14	・子ども(利用者)個人の支援計画が立案されていることを把握し、それに基づいた支援が行われていることを理解する
15	・実習内容を振り返り、自身の記録(実習録)をもとに自己の課題を明確にし評価を行う
	5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
	・各施設における施設保育士の業務内容を把握し、保育士が他職種とどのような役割分担や連携が行われているかを理解する
	・倫理綱領などを参考に施設保育士の倫理意識の向上に努める
	※実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22042		保育実習指導(1)		2	15	講義	30	前期	1年	江莉川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		・保育実習を進めていくために、保育所実習及び施設実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 ・事前指導として保育実習の知識や技術を習得するための講義と演習を行う。 ・事後指導として実習の振り返り、自身の課題と改善点を明確に評価する。										
授業の到達目標		保育実習の意義・目的・内容・方法について理解し、実習に臨む心構えをもつ。また、実習記録の意義・方法を具体的に学び、実践力を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	20	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	80	%	その他	%				
フィードバックの方法		課題やノートは、評価等を書いて返却する。										
教科書・教材		『遊びが広がる保育内容のアイディア』西海聡子編著 萌文書林 『保育所保育指針の解説』厚生労働省 編 株式会社フレーベル館										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。 『事例から見える子どもの育ちと保育』中島常安・清水玲子 同文書院 『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃智子・田中君枝・小山朝子・遠藤純子 わかば社										
履修上の注意等		A4サイズのノートを2冊準備し、配付される資料の貼付や学んだこと・感想を記入してまとめておくこと。実習への意識を高め、他の講義内容と関連させながら、実習に対する知識と理解を深めること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 実習の意義・目的・内容・方法① 実習の意義・目的・内容・方法を理解し、本学の実習概要を知る 幼児教育施設の意義や役割について理解する					・事例①を読んで感想をまとめる ・30分以上			・資料や手遊びの復習 ・30分以上			
2	実習の意義・目的・内容・方法② 一日の流れや具体的な内容・段階を理解する 個々の実習配属先を検討する					・事例②を読んで感想をまとめる ・30分以上			・資料や手遊びの復習 ・30分以上			
3	保育所実習① 保育所保育の役割と機能 子どもの人権と最善の利益の考慮 保育の技術①絵本の読み聞かせについて					・事例③を読んで感想をまとめる ・絵本を1冊選書(0～1歳児対象)し 持参する ・30分以上			・資料や手遊び、絵本の復習 ・30分以上			
4	保育所実習② 5領域と10の姿、養護と教育 保育の技術②紙芝居の読み方について					・事例④を読んで感想をまとめる ・30分以上			・資料や手遊び、絵本、紙芝居の 復習 ・30分以上			
5	施設実習① 施設の意義・役割について理解する					・事例⑤を読んで感想をまとめる ・30分以上 持参する			・資料や手遊び、絵本、紙芝居の 復習 ・30分以上			
6	施設実習② 施設の活動内容を理解し、個々の実習配属先を検討する					・事例⑥を読んで感想をまとめる ・30分以上			・資料や手遊び、絵本、紙芝居の 復習 ・30分以上			

7	実習生としての心構え① 実習要項を理解する	・事例⑦を読んで感想をまとめる ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
8	実習における観察と記録 自己紹介の作成	・事例⑧を読んで感想をまとめる ・2日間実習の打ち合わせやミーティングを記入し、ノートをまとめる ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
9	事後指導における課題の明確化 実習生としての心構え② 子ども理解の重要性を認識し、その目的と方法を学ぶ 保育の技術③絵本の読み聞かせについて	・絵本を1冊選書(3～5歳児)し、読み聞かせの練習をする ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
10	観察方法と記録①「記入の留意事項や実習の概況」 実習先の特色を理解する 保育の技術④紙芝居の読み聞かせについて	・事例⑨を読んで感想をまとめる ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
11	観察方法と記録②「実習の目標課題」 実習に向けての具体的な準備と課題意識を明確にする	・事例⑩を読んで感想をまとめる ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
12	観察方法と記録③「一日の流れ」 実習記録の記述に関する留意事項を理解し、実際の記録に適応する 実習生カードの提出	・子どもの好きな折り紙を覚え、一つ折る ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
13	観察方法と実習記録④「記録と感想」 実習記録の意義を踏まえ、記録内容や方法を理解する	・キャラクター折り紙を覚え、一つ折る ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
14	実習中に必要な留意点を確認する 自己紹介の発表をする	・自己紹介の練習をする ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上
15	実習を振り返り、自己評価および課題を明確にする必要性を認識する	・ノートをまとめる ・30分以上	・資料や手遊び、絵本、紙芝居の復習 ・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23032		言葉		2	15	演習	30	後期	1年	高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-
授業概要		保育内容「言葉」における「言葉のもつ意義と機能」「言葉に対する感覚を豊かにする実践」「言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財」に関する授業を実施する。										
授業の到達目標		言葉の意義と働きを知り、保育者として、子どもの言葉の育ちの基盤となる豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基本的知識とその教材や実践について理解する。										
単位認定の方法		期末試験	70 %	授業内小テスト	%	授業内活動	15 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	15 %	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		齋藤政子，保育内容「言葉」と指導法，中央法規										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針										
履修上の注意等		教科書は毎回必ず持参すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	言葉の意義と機能					シラバスを熟読し、自分なりの関心事項を見い出す（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
2	領域「言葉」と保育					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
3	乳幼児期の言葉の発達のプロセス					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
4	言葉と環境					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
5	困難を抱える子ども達と言葉					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
6	子ども同士の話し合い					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			

7	保育者の言葉かけを考える	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
8	児童文化財の意義	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
9	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（絵本）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
10	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（紙芝居）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
11	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（エプロンを使ったシアター）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
12	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（パネルシアター）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
13	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（ペープサート・人形劇）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
14	言葉を育て楽しさを広げる児童文化財（劇あそび・劇づくり）	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
15	領域「言葉」の指導計画と指導案	授業の到達目標を達成できたか、自己評価を行う（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22032		子どもの健康と安全		1	15	演習	30	前期	1年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		子どもの発達状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的な取り組みや保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。 救命講習を受講し学ぶ。										
授業の到達目標		保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害、感染対策について具体的に理解する。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。										
教科書・教材		「授業で現場で役に立つ 子どもの健康と安全 演習ノート」編著 小林美由紀										
参考書・参考文献等		「子どもの保健テキスト」編著 小林美由紀 診断と治療社 ・「子どもの保健・健康と安全」東京教学社										
履修上の注意等		各章のポイントを抑えおさらいテストで振り返りをしながら、子どもの健康に関して理解を深める。演習を通して積極的に意欲をもって取り組む姿勢を身に付ける。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境や援助 子どもの健康と保育環境					シラバスに目を通す ポイントをノートに記入 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			
2	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境や援助 子どもの保健に関する個別対応と集団生活の健康及び安全の管理					教科書を読む ポイントをノートに記入 自分の体温、脈拍、呼吸数を測定、 ノートに記入 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			
3	第2章 保育における健康及び安全の管理 衛生管理					教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			
4	第2章 保育における健康及び安全の管理 事故防止及び安全対策 危機管理と災害への備え					教科書を読む ポイントをノートに記入 子どもに多い事故は何か調べる 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			
5	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 体調不良や障害が発生した場合の対応と応急措置					教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			
6	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 事故にあったときの対応					教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上			教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上			

7	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 感染症の集団発生の予防 1	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
8	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 感染症の集団発生の予防 2 感染症発生時と罹患後の対応	教科書を読む ポイントをノートに記入 自分の予防接種歴を調べる 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
9	第5章 保育に必要な保健的対応 保育における保健的対応の基本的な考え方 個別的な配慮を要する子どもへの対応	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
10	第5章 保育に必要な保健的対応 障害をもつ子どもへの対応	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
11	第5章 保育に必要な保健的対応 3歳未満児への対応1	教科書を読む ポイントをノートに記入 授乳、おむつ交換、衣服の着脱など 予習 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
12	第5章 保育に必要な保健的対応 3歳未満児への対応2	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
13	第6章 健康及び安全の管理の実施体制 保育における保健活動の計画及び評価 保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携	教科書を読む ポイントをノートに記入 ほけんだより作成の計画 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) ほけんだより作成 30分以上
14	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 救急処置および心配蘇生法 1	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	教科書での振り返り おさらいテストへの取り組み (ノートに記入) 30分以上
15	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 救急処置および心配蘇生法 2	教科書を読む ポイントをノートに記入 30分以上	救命講習の振り返り 課題作成 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23001		絵本学(1)		2	15	講義	30	前期	1年	江荻川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○											
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		絵本に関する専門的・実践的な知識・技能・感性を身につけるため、地域でおはなし会の実務経験が豊富な専門家、図書館の業務に詳しい司書の先生など、絵本に関わる多面の方々にごゲストスピーカーとしてお越しいただき、絵本の全てを学ぶ。なお、本科目は後期「絵本学(2)」へ続く科目である。										
授業の到達目標		テキストに基づく絵本に関する基礎的な知識・技能・感性を身につけ、それらを活用することができる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	20	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	80	%	その他	%				
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		認定絵本士養成講座テキスト (絵本専門士委員会課程認定部会認定絵本士養成講座テキスト作成ワーキンググループ 編集)										
参考書・参考文献等		随時、授業で紹介する。										
履修上の注意等		・認定絵本士資格を取得するためには、後期「絵本学(2)」の履修、および通算8割以上の出席が必須である。また、配布資料は各自でファイリングをし、授業の振り返りや絵本専門士になる際の資料として確認できるようにすること。 ・受講定員は50名とし、履修希望者が定員を超える場合は抽選とする。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
2	絵本総論 (絵本とは何か)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上 事後レポート等提出			
3	大人の心を豊かにする絵本 (人生で3度、絵本を手にする喜び、大人にこそ絵本を)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上 事後レポート等提出			
4	心に寄り添う絵本 (心のケアと絵本の可能性)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
5	子供の心をとらえるもの (子供の心をとらえて離さないもの)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
6	おはなし会の手法① (おはなし会を開こう)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上 事後レポート等提出			

7	おはなし会の手法② (おはなし会のテクニック)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
8	絵本が生まれる現場① (作家の感性に触れる)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
9	さまざまなジャンルの絵本① (物語の絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
10	さまざまなジャンルの絵本② (昔話、童話を基にした絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
11	さまざまなジャンルの絵本③ (科学絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
12	絵本と出会う① (はじめての絵本との出会い)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
13	絵本と出会う② (保育・教育の場での出会い)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
14	絵本と出会う③ (図書館等での出会い～絵本の活用及び地域連携の可能性～)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
15	絵本と出会う④ (書店での出会い)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23001		絵本学(2)		2	15	講義	30	後期	1年	江莉川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○											
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		絵本に関する専門的・実践的な知識・技能・感性を身につけるため、地域でおはなし会の実務経験が豊富な専門家、図書館の業務に詳しい司書の先生など、絵本に関わる多面の方々にごゲストスピーカーとしてお越しいただき、絵本の全てを学ぶ。なお、本科目は前期「絵本学(1)」から続く科目である。										
授業の到達目標		テキストに基づく絵本に関する基礎的な知識・技能・感性を身につけ、それらを活用することができる。さらに、一年間の集大成として、オリジナルの手作り絵本を完成させる。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計	100 %
		期末レポート	%		授業内提出物	60 %		その他	40 %			
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		認定絵本士養成講座テキスト (絵本専門士委員会課程認定部会認定絵本士養成講座テキスト作成ワーキンググループ 編集)										
参考書・参考文献等		随時、授業で紹介する。										
履修上の注意等		・認定絵本士資格を取得するためには、後期「絵本学(2)」の履修、および通算8割以上の出席が必須である。また、配布資料は各自でファイリングをし、授業の振り返りや絵本専門士になる際の資料として確認できるようにすること。 ・受講定員は50名とし、履修希望者が定員を超える場合は抽選とする。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	絵本が生まれる現場② (絵本の編集)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
2	絵本の世界を広げる技術① (絵本を探す技術)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
3	絵本の世界を広げる技術② (ワークショップ)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上 事後レポート等提出			
4	絵本の世界を広げる技術③ (絵本コンシェルジュ術)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
5	絵本を紹介する技術① (ブックトークの技術)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上 事後レポート等提出			
6	絵本を紹介する技術② (書評・紹介文の書き方)					テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			

7	絵本を紹介する技術③ (支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
8	絵本の持つ力 (さまざまな角度から絵本を見る)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
9	絵本のある空間 (絵本のある望ましい空間とは)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
10	ホスピタリティに学ぶ (人を楽しませる為の手法を学ぼう)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
11	絵本各論① (絵本の歴史、絵本賞について)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
12	絵本各論② (視覚表現、言語表現から見た絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
13	絵本各論③ (子供の知的・社会的発達と絵本との関わり)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
14	絵本各論④ (メディアとしての絵本の位置づけ)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上 事後レポート等提出
15	ディスカッション (認定絵本士としての今後の活動)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上